

2007 四季折々 Mutsu

1.

2007年 年賀 「IRON ROAD 和鉄の道」

本年が穏やかで平和な年であることを願っています



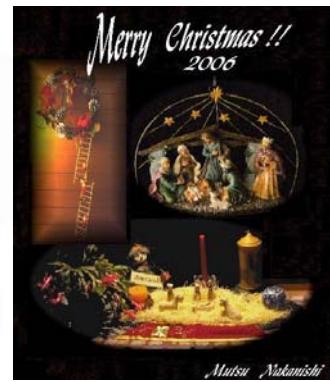
丁亥(東哉作)と春飾り

(Kikuko キャップリサイクル)



今治高橋小夜ノ谷(2)製鉄遺跡

四国で初めて出土した古代の製鉄炉



我が家クリスマス クリブ

ギスギスした余裕のない世相 厳しい時代 「かけがえのない命 生かされ、生きてゆく」
「広島平和の祈り」から発信されたメッセージが心に響きます
本年もよろしくお願いします

「命ドウ宝・ヌチドウタカラ (命を大切に)」 沖縄の古いことばを今年の夏知りました。

「いのち」ということばが語られる時は「戦争」「平和」と重ねられるか遠い世界の話でしたが
今ほどこの「いのち」のことばが現実味を持って身近に語られたことはない。

「学校で 会社で そして 社会で そして 世界で

「命を大切に」のことばとは裏腹に これほど粗末に扱われているのか

時代が変わる 時代に乗り遅れる そんなことばの前に 命の大切さが切り捨てられる。

IT・グローバル・国際競争力など心地よい先端性のことばの下に 時代の担い手が それに追い討ちをかける
声を大きく再度 「かけがえのないのち 命大切に 命ドウ宝」
一つ一つの命にかかり、世界に手をかしたい

2007.1.1. Mutsu Nakanishi

一年ホームページにお付き合いいただき ありがとうございました。

昨年一年間掲載してきたホームページを整理 また、一冊2006年版 「2006 和鉄の道」がファイルに加わりました

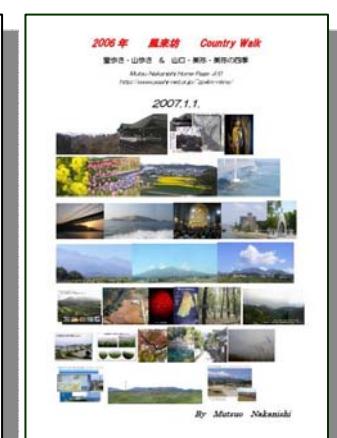
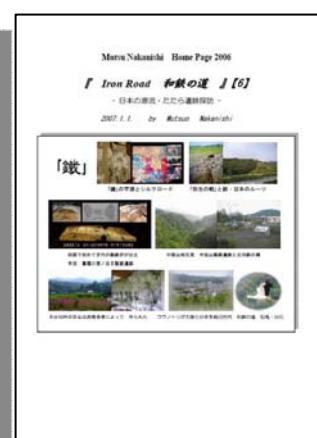
2006年 鉄 をキーワードの Country Walk

おかしな点もままあるのでしょうが、手にとってみると 自分にとってはおもしろい記録集になりました。

今全盛のプロクからする

と ちょっと時代遅れ気
味ですが、後から読み返し
て見ると 見えるものも
あるかも・・・

そんなつもりで、元気なし
るし 引き続き「鉄」をキ
ーワードに気楽に今年も
続けようと思っています。



■ 2006年 和鉄の道

昨年歩いた「和鉄の道」を思い起こしながら、2006年の足跡をPDF fileに整理しました。

2006年のテーマは振り返ってみるとざっとこんなところでした

- 「日本に鉄がもちこまれてから製鉄が始まるまで 1000 年 なぜ こんなに長くかかつたのだろうか」
日本には数多くの製鉄伝承がある それらは 単に作り話とは思えない
 - 遠い存在だった「弥生の戦」 神戸にも弥生の戦の痕跡がある
日本人の心のルーツを映す戦を知らぬ縄文のくらし そして 「鉄が戦を引き起こしたのか」
 - 大和が日本をひとつにまとめる力となった大陸の鉄の支配
邪馬台国と大和 北九州と大和が対比される古代史の幕開けに
大陸の鉄をめぐっての朝鮮半島・日本海沿岸をめぐる鉄の争奪戦の歴史があった

等々 本当にこんなところにも 鉄の歴史の痕跡があるのか と驚くばかりです。

思いだしながら これらの足跡を2006年の口絵に整理しました。

だんだん 更新が重荷になっていますが、以前出かけたところも すっかり様変わりしているところも多く 世の中の中心世代から外れて ぼやきも多くなりました。

本年も 鉄をキーワードに 気の向くまま 足の向くまま 不思議に思ったことなどに目をむけたく思っています

2007. 1. 1. Mutsu Nakanishi

ホームページ更新記事の概要

■ 和鉄の道 Iron Road たらら遺跡探訪

和鉄の道 [6] 2006 口絵

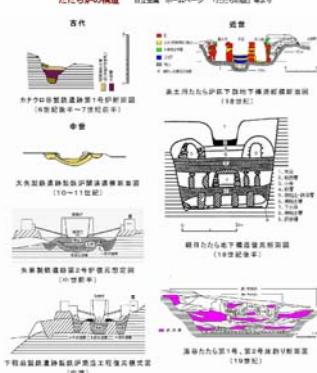
口絵-1 たたら炉の変遷【1】 たたら炉の構造

口絵-2 たら火の変遷 [2] 各時代別 製鉄遺跡

日絵-3 3～5世紀 朝鮮半島から持ち込まれた鉄素材

大陸と大和 七支刀が解き明かす古代製鉄のなぞ

口 練 - 1 たらから競技場の実験 [1]



- 1 日本で最も高い山は富士山ですが、近畿地方カラ谷口駅、戸の山駅、鳥取県今治山駅など、小高い山がたくさんあります。これらをまとめて「近畿の山」といいます。近畿の山の中に入れる山は、山の名前から「近畿の山」の名前を冠するものが多いです。近畿の山の中でも、山の名前から「近畿の山」の名前を冠する山は、ほとんどありません。
- 2 例題1と例題2に対して、なぜかさかのこりごりとした山を連想し、例題1に頭をもつてアレイの内閣官房長官を連想してしまったのです。
- 3 例題1と例題2に対して、山に迷ひながら人を迷子にして、自分が迷子として山の外の山や川を歩き回る、迷路したから山の迷路を連想する（大矢久保の「迷路」）、迷路を連想する（大矢久保の「迷路」）などとして、山の迷路を連想する（「なまくら」）のみでなく、小説や映画を連想する（近畿の山に連れてゆく小説や映画）などあります。
- 4 江戸川乱歩、大曾根文庫の「近畿の山」（近畿4、次の文庫版（以下））の表記。それ以後の表記は、山の名前で表記されるのが一般的で、近畿の山に連れてゆく、迷路の大矢久保など、山の迷路を連想するなら、迷路を連想するなら、近畿の山、近畿の山に連れてゆく。

口 紙-2 たたら製鐵炉の高溫 [2]

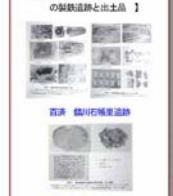


□ 統一3
3—5世紀、朝鮮半島から拂も日本海を経て

3~5世紀 朝鮮半島から持ち込まれた鍛造業
大陸と倭「七支刀」が併存明かす古代製鉄の謎
古代 鉄・軍事を支配した物部氏の本拠地 大和・布留の氏寺 石上神宮の宝物館「七支刀」



1-4~5世紀朝鮮半島



A collage of three images: a wide landscape view of hills and trees, a close-up of a traditional Japanese building's eaves and roofline, and a view of a garden with a stone path and trees.



すっかり 春の陽気 このまま春がくるのでしょうか・・・ 2007.2.1. 庭先の花など



滋賀県守山 早咲き満開の菜の花とその向こうに連なる比良連峰 2007.1.30 .

ばたばたしている間に はや2月です。 いかがお過ごしでしょうか・・・
本当に暖かい冬。 これだけ暖かければ拍子抜けです。

この暖かさに いつも寒中に咲く庭の蝋梅の花も随分遅れ、逆に梅や菜の花の便りが早くも聞かれます。 もっとも 風邪か 花粉症の前触れか 咳がとれず 体調はいいのですが、気分のすっきりしない毎日です。

神戸では1月17日 震災12年 今年も色々な行事が行われました。

「震災の記憶を風化させるな」の言葉とは裏腹にまったく、はつきりしない商業主義的な行事もみられるようになりました。

神戸では新しい世代を含め、震災を知らない人たちが1/3近くになったと聞きます。また、神戸で育った新しい連携が、気持ちの中から薄れつつあるのも事実。 真っ暗な寒い夜空にぱっとルミナリエの明るい灯がともった時の感激は今もありありなのですが・・・

時代をつないでゆく風化させてはならない記憶・知恵と風化させてもよいものとをきっちり意識せねばいけないのかかもしれません。

いやなことを見聞きする昨今ですが、「もう 琵琶湖の湖岸で 菜種の花が満開」と聞いて、「菜の花畠の向こうに聳える雪の比良の写真が取れる。」といてもたってもいられず、古代たら遺跡の眠る瀬田丘陵を久しぶ

2006年 神戸 ルミナリエ

生かされているすべてが一家族
一人の痛みがみんなの痛み
ひとりひとり自らが 手をかそう



りに訪ねることとあわせて 1月 30 日琵琶湖に出かけました。

瀬田丘陵のたたらは又にしますが、暖冬とはいえ 快晴で春の陽気。

琵琶湖大橋のすぐそば 守山市のなぎさ公園では 満開の菜の花の香りが漂い、正面琵琶湖の向こうには 雪を抱く蓬莱・打見山がどっしりと座る比良の山並みが全部見えました。

琵琶湖の西岸を南北に連なる比良連峰が全山見たのは本当に久しぶりでした。

今年はやっぱり 随分雪が少ないですが・・・・。

春の菜の花を見るとぱっと 明るくなります。

変わらずですが、「あっちも行きたい こっちもいきたい」とデジカメ首にぶら下げて 風来坊
そんな中から 今月のホームページ更新しました。

昨年「弥生の戦」を皮切りに調べだした古代神戸の鉄とのかかわり。

神戸には製鉄遺跡がないと思っていたのですが、神戸の中心市街地三宮に古代の鍛冶工房があり、その前の時代 古墳時代初期 神戸の海岸に立ち並ぶ3つの古墳 謡曲「生田」に謡われる伝説の古墳は古墳時代の大陸から大和へ続く「鉄の道」の守りではないか・・・・

そんなことを思いながら、神戸の製鉄遺跡を掲載しました。

何でもみてやろう Country walk またまた増えた 今日この頃

暖かくなる春が待ち遠しいです。

2007.2.1. Mutsu Nakanishi 神戸にて

琵琶湖湖岸 満開の菜の花と比良連峰 2007.1.30. 滋賀県 守山市 なぎさ公園にて



こんなにきれいに立ち並ぶ比良連峰を見るのは本当に久しぶり。例年に比べ随分雪が少ないが、正面のなだらかな峰に雪を抱いているのが、蓬莱山・打見山 カーレータの傷跡も小さくなりました

神戸にも古代製鉄遺跡がありました

また 神戸の海岸にある初期古墳は 大陸から大和へ続く古代「和鉄の道」の番人か ??????

2007年になって 初めてのホームページ更新。 またまた 遅くなってしまいました。

「これも考えておきたい これも調べたい」と頭がまとまらず、発散ばかりしています。今年は 日本での製鉄の始まりと 纏向に始まる大和王権と鉄の関係など 何とか もう少しクリヤーにならないかと思っています。

また、以前でかけた製鉄遺跡でも瀬田丘陵や福島県行方の製鉄遺跡群などでも 新しい発見が相次いでいます。

以前には知らなかつたことを加えると新しい視点も出てくるし、再検討せねばと思っています。

朝鮮半島 伽耶・百濟・新羅にも ぜひ行って見たいです。

また、 まったく製鉄遺跡と関係のないと思っていた神戸にも鉄の痕跡が見えてきましたし、やること多しです。

さらに 縄文の時代感もますます変わってきましたし、そっちも・・・・・・・。

まあ 地道に Country Walk の楽しみ続けようと思っています。

当月掲載した新しいページは下記の2件をまとめました。

1. 古代 神戸の「鉄」を訪ねて

神戸市内の「二宮製鉄遺跡」と「求女塚古墳」

神戸市内出土の三角縁神獣鏡・前方後方墳の足跡が語る「古墳時代の鉄の道」

神戸にはないと思っていた製鉄遺跡 それも古代の製鉄遺跡がありました。

それも 神戸灘の海岸に立ち並び、謡曲「生田」に謡われる伝説の3つの古墳がどうも古墳時代の「和鉄の道」の守り手だったのでは????

と。また、三宮の繁華街のど真ん中から 古代の大きな鍛冶工房が出てきています。

神戸の昔は何もないところと思っていましたが、どうも 昔から重要な交通の要衝のようです。

2. 8-12世紀 越・柏崎に眠る大製鉄コンビナート 軽井川南製鉄遺跡群 (資料)

また、8世紀 律令体制が整った大和王権が地方経営に乗り出し、その先端地で経営した大規模鉄のコンビナート。今年は もう一度 きっちり 歩いて 整理しようと考え、資料を集めています。

そんな中 日本海側越の国 柏崎で 古代の大製鉄コンビナートが出土したと聞き、資料を送っていただきました。 日本海側最大の古代の製鉄遺跡 日本海側の東日本諸国を支える大和王権の大製鉄コンビナート。

まだ、よう 出かけていませんが、興味ある遺跡 資料から概要をまとめ 整理しました。

ホームページ更新記事の概要

■ 和鉄の道 Iron Road たらだら遺跡探訪

1. 古代 神戸の「鉄」を訪ねて

神戸市内の「二宮製鉄遺跡」と「求女塚古墳」

神戸市内出土の三角縁神獣鏡・前方後方墳の足跡が語る「古墳時代の鉄の道」



昨年「弥生の戦」を皮切りに調べだした古代神戸の鉄とのかかりわり。

神戸には製鉄遺跡がないと思っていたのですが、神戸の中心市街地三宮に古代の鍛冶工房があり、その前の時代 古墳時代初期 神戸の海岸に立ち並び、謡曲「生田」に謡われる伝説の3つの古墳がどうも古代の鉄と関

係するのではないかと・・・・

古墳時代の大陸から大和へ続く「鉄の道」の守り。そしてその主は大和王権の中枢にいた物部氏の痕跡ではないか????

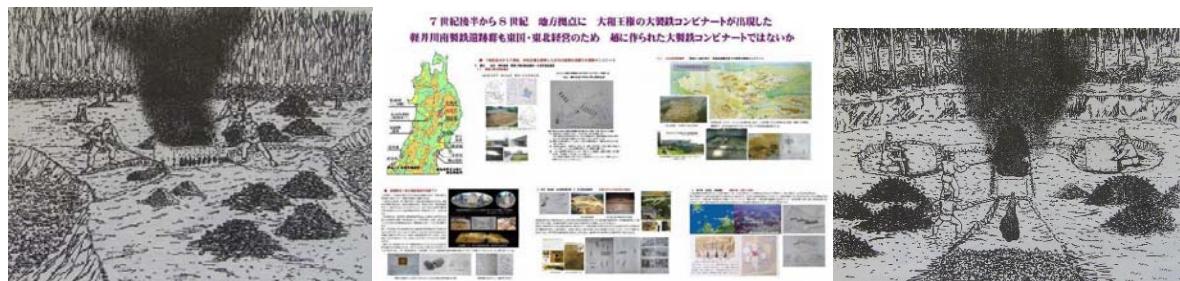
瀬戸内海をたどってきた人たちが、この神戸で初めて畿内・大和の勢力圏に入る「和鉄の道」

今誰も見向きもしないが、

古墳時代ここを通った多くの渡来人や鉄それが日本誕生に大きな役割を演じたのではないかと一人イメージを広げています。

そんなことを思いながら、神戸の製鉄遺跡を掲載しました。

2. 8-12世紀 越・柏崎に眠る大製鉄コンビナート 軽井川南製鉄遺跡群(資料)



8世紀 律令体制が整った大和王権が地方経営に乗り出し、その先端地で経営した大規模鉄のコンビナート 福島県原町 行方の製鉄遺跡群・そして 福岡 元岡遺跡群にも今年はもう一度 きっちり 歩いて 整理しようと考え、資料を集めています。

先日再度訪れた瀬田丘陵の製鉄遺跡も 随分 イメージが変わっていました。

そんな中 日本海側越の国 柏崎で 古代の大製鉄コンビナートが出土したと聞き、資料を送っていただきました。色々教えていただいいて やっと イメージができだした越の鉄 越後には砂鉄があり、三彦山のひとつ弥彦山もある。

九頭竜川流域の鉄ばかりに頭が行っていましたが、越後 柏崎からの大製鉄コンビナート発見のニュースに頭が一転です。日本海側最大の古代の製鉄遺跡 日本海側の東日本諸国を支える大和王権の大製鉄コンビナート。まだ、よう出かけていませんが、興味ある遺跡 資料から概要を紹介かねて、雑な整理ですが、PDF資料でアウトラインを紹介します。また、瀬田丘陵 ぜひ知りたかった源内峠のたたら炉や新たに発掘された野路小野山遺跡?については次月にまとめます。

■ Country walk 風来坊

あそこも行きたい ここも行きたい なのですが、今回もまとまつた記事なし。上記しました早春の菜畑とその向こうに見える比良連峰の姿をご覧ください。

菜の花の香りがいっぱいに漂う中 ゆったりと雪を戴く蓬莱山・打見山 そして 北には堂満岳に比良の主峰武奈ヶ岳 こんなにきれいにみえるとは・・・ 学生時代のホームグランドです。

これだけきれいに見えれば 東の伊吹山も琵琶湖越しに見えるだろうと思ったのですが、残念ながらかすんで 目を凝らすと 雪の姿がうっすら琵琶湖越しに浮かんでいるのが見えましたが、写真にはダメでした。



琵琶湖湖岸 満開の菜の花と比良連峰 2007.1.30.

滋賀県 守山市 なぎさ公園にて

■ 思いつくまま from Kobe

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 2007年1月 きままなひとりごと | 2007.1.25. |
| 2. 「発掘された日本列島2006」展 大阪 | 2007.1.17. |

3.

2007年3月 「IRON ROAD 和鉄の道」



須磨山 南西斜面に広がる梅林より 明石海峡遠望 2007.2.27.



須磨園場 須磨山より一ノ谷・須磨方面を望む 2007.2.27.



須磨山 南西斜面に広がるほぼ満開の梅林 2007.2.27.

神戸の春 2007

須磨山上 満開の梅と菜の花

2007.2.28



明石海峡に群がるイカナゴ漁の船団群とすぐに明石魚の棚で売られるイカナゴ 2007.3.1

冬がなかったかのような春3月、神戸ではイカナゴ漁が解禁となり、待ちかねた春の「釣煮」の季節になりました。

明石海峡にはいくつものイカナゴ漁船団が出て、港ではイカナゴの水揚げを待つ人たちでいっぱい。

明石の魚の棚もイカナゴを買い求める行列がならぶ、いつもの光景がはじまっています。

同じ時期 例年 須磨山上の梅はまだ蕾が固いのですが、今年はもう満開、

あたりに梅の香りが漂い、紅梅・白梅の向こうに春の海がキラキラと光っています

神戸はもう春真っ只中になりました

2007.3.5. by Mutsu Nakanishi

昨年から続いている古代のたたら製鉄 1月末に訪れた近江瀬田丘陵の源内峠製鉄遺跡・野路小野山製鉄遺跡をまとめました。

1000年にわたる模索の中から 6世紀小さな製鉄炉で始まった国内での鉄生産 1世紀をかけて近江の国で大型量産技術に磨かれ、8世紀 地方の重要な拠点で古代の製鉄コンビナートが形成されてゆく。渡来人のもたらした技術をいっしょになって、さらに高度化して 固有技術にしていった時代である。



西六甲縦走路 須磨周辺の鳥瞰写真

この近江が担ったほんの40cm四方の炉床の小型炉が大量生産可能な長さ2m幅60cmを超える大型製鉄炉に変身する。まさにわたしたち団塊の世代が経験したのと同じ古代の高度成長の時代。数々の歪を生じながらも 鉄の技術革新が日本の国づくりを支えてゆく。

この時代 どんな 技術がどのように取り込まれ、固有技術になつていったのか・・・・

今の時代と同じく ものづくりの技術はよくわかっていない。近江へ行けば 「 ***風 」 と呼ばれる自然の風を利用したたら 製鉄からの古代大型炉への変遷が見えるのでは? と。



google earth より 瀬田丘陵 琵琶湖の鳥瞰写真

インターネット google earth を使えば 走っている車も捕らえられる衛星地形画像が見られ、それを実際その上空を飛んでいるような鳥瞰写真にすぐ変えられる。すごい時代である。蛇足ながら このgoogle earth を使って 各地のCountry walk と組み合わせて楽しんでいるが、かつて 汽車の時刻表や登山マップの工程表を繰り返し見ていた楽しみと同じで、時間を忘れてしまう。瀬田丘陵で古代の大型炉を育んだ源内峠も このgoogle Map でみると まさに琵琶湖を吹き渡る比良おろし・比良八荒が吹き抜ける谷筋。ここで自然風を使いながら、人口送風への切り替えの試みが数々試されたに違いない。(当時はまだ鞴がなく、皮フイコ° をつかっていたと思われる)

そんな楽しみも加わって 楽しい近江瀬田丘陵の Country Walk でした。

IT 技術の恩典にも浴しながらも、われもわれもの IT 万能とグローバリゼーション の薄っぺらなデジタル論議にはいささか食傷気味。ものづくりの本質もほんとうは スポットライトをあびることのない技術の積み重ね・複合技術で、一著上がりというわけにはいかない。ぼつと政治家やなんやかやが現場を通っただけではわからないぎじゅつと思っている。なんせ たたら製鉄ではこの技術の探査・習得に 1000 年近くもかかっている。

先日 大阪であった縄文塾の夜の懇親会で 縄文時代がどんどん 小学校の教科書から消えているという。

要は 日本を教えるのは 稲作文化からの弥生時代からでいいということのようです。

今 一般の縄文觀が大きく変わり、しかも 日本の文化の深さに縄文の文化が根ざしており、まして今、自然・地球との共生の知恵が詰まる縄文である。

社会も会社も医療も そして教育も 大きく音を立て変わろうとしています。 本当にこれでよいのか・・・・

厳しい時代です。 そんなことなど ぶらぶら 考えながら 風来坊の Country Walk を楽しんでいます。

3月のホームページの更新です

恒例みたいなものですが、 3月 神戸の風物詩 イカナゴ漁と須磨山上の梅

今年はイカナゴ漁の基地 明石林崎漁港で イカナゴ漁や船を待ち構えるイカナゴ仲買の人たちの風景など写真を取ってきました。

なんと 物好きな・・・でしょうが、同好の士は沢山いて、広島から朝一番の新幹線で 写真取りに来たという人も・・・・。

また、須磨山上旗振山の梅林 ことしじはもう満開で 眼下に霞む明石海峡をバックにすばらしい景色がみられました。

一の谷を見下ろす谷の上部 今年も菜の花が満開・キンカンの実がいっぱい、須磨の浜と美しいコントラストでした。

長年 須磨海岸の海に伸びていた山砂採取のコンベヤーが撤去され、海岸の風景から消えていました。

古代日本の展開に大きな影響を与えた地方拠点での大製鉄コンビナートの成立に大きな影響を与えた瀬田丘陵の製鉄遺跡を訪ねました。 5年前にも資料を集め、出かけたことがあるのですが、新しい発見もあり、古代の製鉄炉はどんなものだったのか・・・・なぜ 瀬田丘陵だったのか??? 等々新たな興味です。

団塊の世代の私たちと同じように よくも悪くも 高度成長を果たしてゆく古代のこの時代。 大和や西・瀬戸内からの交通路ばかりでなく 北の琵琶湖からの交通路を持ち 半島の各地からの渡来人が数多く住む近江。

製鉄技術の展開から なにか 今まで知らなかつたことが見えてくるだろうと。

2月16日 三内丸山遺跡をはじめ、青森の縄文を世界遺産への登録を目指す運動の一環で開かれた「あおもり 縄文 まほろば」展にあわせて開催された大阪で三内丸山発信の会の縄文塾に参加。長き縄文の時代を網羅する青森の縄文の名品を見ることができ、本当に関西に縄文の常設展示館がほしいと。

教科書から縄文時代が消えようとしています。なんで・・・・。 物だけでなく その生活を含め、縄文のすばらしさにふれて ほしいものです。

そんなことを またまた 雑ですが、時間に追われながら 3月の更新をしました。

春になって、野山はそろそろ カタクリの花 そして 桜も近し
元気に 気の向くまま Country Walk です
この頃 孫のこと 書かないなあ といわれますが、元気にテレホン デイトです。
また 色々メールください。

2007.3.5. Mutsu Nakanishi

ホームページ更新記事の概要

■ 和鉄の道 Iron Road たらだ遺跡探訪

1.瀬田丘陵の源内峠製鉄遺跡・野路小野山遺跡を訪ねて

大型量産製鉄炉を確立し、古代官営大製鉄コンビナートに発展させた近江の製鉄技術

古代日本の展開に大きな影響を与えた地方拠点での大製鉄コンビナート。 の成立に大きな影響を与えた瀬田丘陵の製鉄遺跡を訪ねました。

5年前にも資料を集め、出かけたことがあるのですが、新しい発見もあり、古代の製鉄炉はどうなものだったのか・・・・なぜ 瀬田丘陵???

団塊の世代の私たちと同じように よくも悪くも高度成長を果たしてゆくこの時代 大和や西・瀬戸内からの交通路ばかりではなく 北の琵琶湖からの 交通路を持ち 半島の各地からの渡来人が数多く住む近江。

製鉄技術の展開から なにか 今まで知らなかつたことが見えてくるだろうと



大津市びわこ文化ゾーン
奥が源内峠製鉄遺跡

中国山地で6世紀 箱型炉による製鉄ガスタート	近江など畿内で量産・大型炉がぐくまれる	量産モデル炉による官営製鉄コンビナートへ
石見 今狹山 製鉄遺跡 6世紀後半 45cm×45cm 自然通風・皮吹子	吉備 大庭池南製鉄遺跡 6世紀後半 50~60cm×100~120cm 自然通風・皮吹子	古橋製鉄遺跡の箱型炉 7世紀前半 50cm×2m 自然通風・皮吹子
古橋製鉄遺跡の箱型炉 7世紀後半 0.3~0.6m×2m ~ 2.5m 自然通風・皮吹子	源内峠製鉄遺跡の箱型炉 7世紀後半 約1.2m × 約2m 自然通風・皮吹子	近江 野路小野山製鉄遺跡 8世紀 約1.2m × 約2m 人口送風・踏鞴
吉備 大庭池南製鉄遺跡	古模製鉄遺跡の箱型炉	滋賀 金沢製鉄跡 8世紀 60cm×2m 人口送風・足踏鞴
石見 今狹山 製鉄遺跡	古模製鉄遺跡	近江 野路小野山製鉄遺跡

2. 縄文の接合 「あおもり縄文まほろば展」を見る

アスファルトで接合された合掌土偶や縄文人が描かれた石冠ほか 青森の縄文の名品を見る

大阪歴史博物館「あおもり縄文まほろば展」に青森縄文の名品がそろいました。

土偶・縄文の土器・ヒスイも そして 縄文のポシェットに、是川遺跡の漆も・・・写真やレプリカでしからぬ名品が目の前に並んでいました。

接合屋としての興味は 縄文の接合。 すばらしい合掌土偶の腕・膝が縄文人によりアスファルト接着され出てきています。

派手はありませんが 縄文の時代から確かな接合技術があり、しっかりと ものづくりの技術が根ざしていました。

また、現代のアートで通用するような線刻画 縄文人3人が小さな石に描かれていました。

関西ではなかなか見れない縄文の遺物。なぜかその柔らかさに魅せられていました。 ふっと 気の休まる縄文の名品ばかりです。



■ Country Walk 風来坊

1. 神戸の春 2007 写真アルバム

須磨山上 満開の梅 & 明石林崎漁港のいかなご漁

恒例みたいなのですが、 3月 神戸の風物詩 イカナゴ漁と須磨山上の梅

今年はイカナゴ漁の基地 明石林崎漁港で イカナゴ漁や船を待ち構えるイカナゴ仲買の人たちの風景など写真を取ってきました。

なんと 物好きな・・・でしょうが、同好の士は沢山いて、広島から朝一番の新幹線で 写真取りに来たという人も・・・・。

須磨山上旗振山の梅林 ことは もう満開で 眼下に霞む明石海峡をバックにすばらしい景色がみられました。 一の谷を見下ろす谷の上部 今年も菜の花が満開・キンカンの実がいっぱい、須磨の浜と美しいコントラストでした。

長年 須磨海岸の海に伸びていた山砂採取のコンベヤーが撤去され、海岸の風景から消えていました。



須磨山上に咲く満開の梅と菜の花 もう神戸は春到来です 2007.2.28.



神戸の春を告げる大阪湾・播磨灘のイカナゴ漁 漁場の明石海峡周辺には船団がいっぱい 2007.3.1.

■ 思いつくまま from Kobe

1. From Kobe 3月 「縄文時代が教科書から消えつつある」にびっくり

「日本人の心を映す縄文」 「世界三大文明にも匹敵する木・森の文化縄文」といわれる縄文時代の記述が教科書から消えつつあると聞きました。

ほんと なんでやねん・・・・です。

縄文の遺跡に立てば・・・ 縄文の名品を見れば その感じがわかるのですが・・・



4.

2007年 4月 「IRON ROAD 和鉄の道」

4月 あっという間に桜が咲いて いろんなところの桜をみせていただきました



山梨県北杜市武川 実相寺境内 樹齢 2000 年 「神代桜」 2007. 4. 1.



京都・奈良の境を流れ淀川に合流する大河 木津川 歴史の笠置にかかる沈下橋と桜 2007. 4. 9.



山口県美祢 厚狭川の桜 美祢のYさんから 懐かしい写真を送ってもらいました 2007. 4. 5.

4月 ぐずぐずしている間に 桜満開の季節も過ぎようとしています。

4月 今年はすばらしい「桜」を色々見ることができます

特に たくましく2000年の生き様をそのままみせる山梨の「神代桜」の姿には感激。

久しぶりに 東京にいる娘一家と八ヶ岳山麓の清里でドッキング 清泉寮のコテイジに泊まって 新2年生と2歳になったばかりの孫たちとおじいちゃん・おばあちゃんを楽しんできました。 だれにも気兼ねせず 走り回れるコテイジ 春の清里の景色とともにすっかり 気に入っています。 また 相変わらずですが、Country Walk にも精出しています すばらしい桜も見たし、4月はイースタ そして 青春18キップで歩いた Country Walk 等々 早く更新しようと思いながら またまた、4月も終わりになってきました そんな桜の便りとともに 新しいホームページ届けます。

2007.4.15. Mutsu Nakanishi

■ 山梨県北杜市の200年生きてきた「神代桜」の姿に感激

4月 あっという間に桜が咲き出して、満開の桜をあちこちで、見ることができました。

特に春休みの孫たちと八ヶ岳山麓の清里に行ったのですが、その折に南アルプス鳳凰三山の山麓北杜市武川で見た樹齢2000年の「神代桜」には感激でした。 まだ、雪をいただく鳳凰三山・甲斐駒ヶ岳をバックにすごい巨樹の柱から新しい桜満開の幹を四方に広げていました。

以前はもっと背の高い桜だったようですが、少し小さくなつたと聞きました。 遠くから見たときには数多くのつかえ棒に支えられ、京都円山公園の枝垂れ桜が頭をよぎり、「何かいたいたしいなあ・・・・」と思ったのですが、近づくにつれ、そんな気は吹っ飛んでしまいました。

どっしりと大地に根を下ろし、何度も何度も本体の周りから幹を伸ばし、胴回り 15m を超える樹の太さとなって、本体をがっしり守り支え、ごつごつとした荒々しい樹の表面がその2000年の歴史をしっかりと伝え、そして 今花を咲かしている新しい枝をがっしり支え、見上げている。本当にたくましい。大地から空へ伸びようと力強い生命力をむんむんと発散。 オーラを感じるとはこのことか?と。

すごいエネルギーをもらいました。

福島県三春の「滝桜」を見たときに感じた爽快感。

久しぶりでした。

2000年か・・・・ わたしも まだ これからだと。また、7年過ごした山口県美祢の街中を流れる厚狭川土手の桜の写真を美祢のYさんが会社の便りと共に送ってくれました。

昔 美祢で仕事したときのことや、夜桜見物で歩いたことなどほんとうに懐かしい。

鳥が桜の花芽をすっかり食べて、花が咲かないといったことも聞きましたが、満開の桜健在ににっこりです。 おりしも 運営の大半を民間企業に委託する全国初の刑務所「美祢社会復帰促進センター」が1日、開所したとTVが伝え、美祢の街に新しい顔が加わり、さらに活気がでれば・・・と。



山梨県北杜市武川の山高「神代桜」 2007.4.1

鈴鹿の山並みから流れ出て 西にまっすぐ奈良と山城の境を流れ下り、数々の歴史に登場し、淀で淀川に合流する大河「木津川」。この川を調べていて 山間の中流 笠置に 大水が出たときに川の中に潜没する「沈下橋」が2つもかかっていると知って、息子にもらった青春18きっぷを使って出かけました。

あまり知らなかつたのですが、笠置はすばらしい桜の名所。 狹い渓谷に沿って 関西線の鉄路が伸び、その鉄路に沿って渓谷を見ながら歩ける桜満開のハイキングコース。 そんな渓谷の中 川を挟んで 向かい合う小さな集落をつなぐ一筋の沈下橋。ずっと四万十川の沈下橋にあこがれて、イメージふくらませていたのですが、ひとつこひとりいない山里の広い川幅の両岸を欄干のない一筋の長い橋がつなぎ、あぶなっかしそうに一台の車が渡ってゆく。桜のハイキングコースとあいまって 映画のロケをみているような光景でした。

関西お勧めのハイキングコース。僕は良く知らなかつたのですが、車窓から眺める景色もすばらしく、この笠置から伊賀上野・間にゆく関西線のコースは関西屈指の青春18きっぷの人気コースとか…

■ 4月8日はイースタ・復活日のメッセージより



4月8日 神戸須磨区 妙法寺川公園で 2007.4.8.

4月8日はイースター・復活日。 桜満開の中でのイースター。

わたしの住む須磨 妙法寺川に沿って植えられた桜並木もすばらしく、8日の日曜日には 桜の下で酒宴をはって 桜を楽しむ人でいっぱいでした。

よみがえられたキリストの平和 「キリストの復活」に言葉はいらない

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」

「自らをふりかえり、家族・周りの人たち・地球の人たちに思いをはせ、祈りましょう」

昨年 11月参加した広島国際平和会議の平和メッセージとして発信された言葉に強く引かれる。

「自らが、世界の一人ひとりに 手を差し伸べよう

自らが起こした小さなひとつの行動の輪が、つぎつぎと大きくなつてゆく」

最近の日本で一番欠けている言葉かもしれないつくづく思います。

年老いてくると 行動半径もますます狭くなつて、近視眼的にしか見えず、自分たち せいぜい自分の仲間ぐらいしか 見えない。 そんな自分をふつと感じて さびしくなるが、老大国 日本もそんな風潮か・・・・。

自分たちの持つ「1」をゆづることが、広い世界では「100」にも「1000」にもなる。近視眼的な自由・権利・競争から、この地球で共に生きる倫理観・理念が行動になるようこころがけたいものだと思っている。

■ 桜満開の中で逝った友 仲間の訃報を聞くのは本当につらい

信州から帰った4月1日夜 大学 同じ研究室で学んだ友 F君の訃報を聞く

長く高知で数多くの研究者・技術者を育て、つい先日 退官して京都に帰ってきたと聞いたばかり。急性の心臓マヒだったと。 夜遅くまで、顕微鏡を眺め、研究の面白さ 不思議さ を熱っぽく語っていた友。

これほど 研究が好きなやつは居らんと…

周りに気を使いながらも 誰に影響されることなく 自分に正直で 本当にやさしい友だった。

卒業してから 会って話す機会は数度でしたが、いつも頭の隅にあって、大事な仲間だったとつくづく思う。

【思いつくまま from Kobe 4月】

1. 「兵庫」の鎖 -「兵庫鎖」を調べていて-

「兵庫鎖」・「兵庫」のルーツとゴム輪など・・・

知らないことが次々と



「兵庫鎖」の話を教えていただいて 昔の記憶をたどりながら 何やかや引っ張り出したり、インターネット調べたり、調べてみると面白い話がぞくぞく。

やっぱり、ものづくりの技術は奥が深いというか 技術伝承がそのものだけにとどまらず、広がってゆくことを感じました。最近 あまりにも 薄っぺらで うのみにしてしまうことが多い時代。

落ち着いて 考えてみたり、そのフィールドに 直接 出かけてみるのも面白い。

2007. 3. 20. 神戸にて Mutsu Nakanishi



4月のホームページの更新です

あれもこれもと 色々調べている間に四月も半ば 今月もまた 少し消化不良気味ですが、桜のすばらしい景色を見ることができましたので、それらを中心にまとめました。

昨年から 気になっていた古代大和への鉄の流入ルート。一般的には 大和川を遡るのが近いのですが、淀川・木津川も有力。ましてや 日本海側を考えると最有力。また 紀ノ川から吉野川のを遡る道も・・・・。

そんなことを考えていたら、いずれもこの大和の入り口には朝鮮半島からの鍛治技術を持った渡来人が数多くすみついで、鍛治攻防が展開されている。これは大和への鉄の道・・・・と。また、日本誕生にかかわった大和三輪山山麓の纏向への鉄の道はどこか ・・・・

これがはっきりすれば 卑弥呼のなぞも解けると・・・・

今年の春は 青春 18 キップを使って せっせと大和周辺に通いました。

順次 大和への鉄の道淀川 大和川 紀ノ川について 検討してゆきたいと思っていますが、まだ 消化不良ですが、その一部を今月から紹介します。

そんなことで またまた、時間に追われながら 遅ればせの4月の更新をしました。

あつという間に 若葉におう季節

柔らかな若葉がさまざまな表情に野山を変え Country walk には 最も良い季節

元気にすごくのが一番と また 色々メールください。

2007. 4. 16. Mutsu Nakanishi

ホームページ更新記事の概要

■ 和鉄の道 Iron Road たたら遺跡探訪

1. 古代大和の鉄の道を訪ねて【1】

淀川・木津川から大和へ 大和の外港 木津「泉津」を訪ねて



3世紀後半 卑弥呼の時代 四方を山に囲まれた肥沃の地 大和で日本誕生のドラマがはじまった
そのKeyは朝鮮半島の「鉄」 朝鮮半島・大陸から西日本を通って大和へ 古代の「鉄の道」があった。
大和への入り口は3つ。そんな古代 大和の鉄の道の一つ 淀川・木津川から平城山越のルート 大和の
外港南山城 木津の「泉津」を訪ねました。卑弥呼の道だったかもしれないこの淀川・木津ルート 久しづ
りに奈良坂 般若寺周辺の旧京街道へも行きました。

2. 関西の縄文1

京都 長岡京の北西端に出土した縄文集落 上里遺跡を訪ねて



縄文遺跡というと東日本 関西には縄文遺跡がないのか……

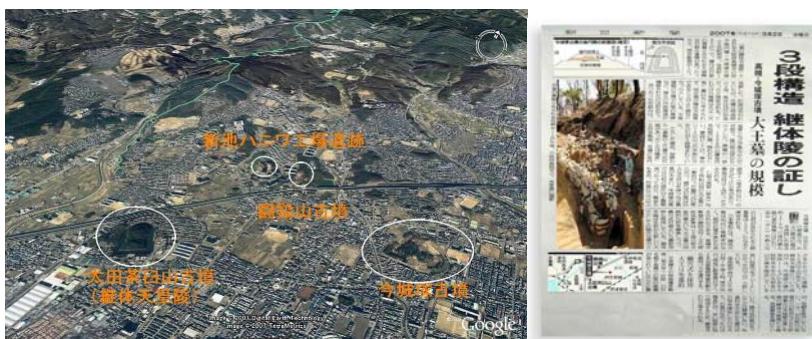
「関西の縄文に火をともそう」そんな「縄文の会」の例会に毎月出かけています。

京都 長岡京の北西端で縄文集落遺跡の発掘調査が行われていると教えてもらって 出かけました。

北摂連山のポンポン山と小塩山を背にした山裾の高台の田園地帯 正面はるか向うに淀川がながり、男山・生駒の山並みが見張らせる素晴らしい場所に縄文の集落がありました。 縄文人は見晴らしのいい山裾の丘陵地 素晴らしい場所に集落を作っている。

この上里遺跡ものどかな田園が広がる素晴らしい場所でした

3. PDF 資料 高槻 三島古墳群 今城塚古墳・闘鶏山古墳を訪ねて



淀川が流れ下る高槻・茨木市北摂連山の山裾に繼体天皇の御陵はじめ、数多くの前方後円墳がある。この地で

は卑弥呼の時代から 前方後円墳が作られ、大和王権初期から密接な関係を持った重要地点である。繼体天皇の墓ではないかと見られていた「今城城塚古墳」で天皇陵にしか見られない三段の石組みの一部の一部が発見されたとの発表があり、ますます繼体天皇陵の可能性が高くなった。また このすぐ南西にまだ未盗掘でファイバスコープ検査で三角縁神獸鏡や鉄剣など数々の副葬品が確認されるなど脚光を浴びている古墳時代前期の古墳 戦鷄山古墳がある。

繼体天皇は北近江・越の製鉄集団と関係の深い天皇であり、淀川を見晴らす高台にあり 川向こうにも 枚方・河内磐船・森にも初期古墳群があり、物部氏と関係する製鉄集団の地。当時 淀川は大陸・朝鮮半島と大和を結ぶ鉄の道の大動脈。この地はそれを守る大和の重要な拠点。

新聞発表にぜひとも資料がほしいと 今城塚古墳・戦鷄山古墳を見学に出かけました。

まだ きっちり検討滴定ませんが 遺跡の概略を PDF file 資料にしました。

■ Country Walk 風来坊

1. PDF file 写真アルバム 2007 春 桜のたより

pdf 写真アルバム 2007年春 桜の便り



- 山梨県北杜市の樹齢 2000 年 神代桜と清里から見る春の南アルプス・ハケ岳
- 山口県美祢 市街を流れる厚狭川の桜 美祢の Y さんからメールで送ってもらいました
- 木津川上流 笠置の桜と沈下橋

4月 あっという間に桜が咲いて いろんなところの桜をみせていただき、ホームページのトップにも掲載

そんな桜の便り ほかにも 思いもかけず 気に入った写真もとれました。

きっちり整理できませんでしたので それらの写真を PDF file にあつめて pdf file 写真アルバムにしました。

■ 思いつくまま from Kobe

1. From Kobe 4月 「兵庫」の鎖 -「兵庫鎖」を調べていて-

「兵庫鎖」・「兵庫」のルーツとゴム輪など・・・知らないことが次々と

「兵庫鎖」の話を教えていただいて 昔の記憶をたどりながら 何やかや引っ張り出したり、インターネット調べたり、調べてみると面白い話がぞくぞく。やっぱり、ものづくりの技術は奥が深いというか 技術伝承がそのものだけにとどまらず、広がってゆくことを感じました。

最近 あまりにも 薄っぺらで うのみにしてしまうことが多い時代。

落ち着いて 考えてみたり、そのフィールドに 直接 出かけてみるのも面白い。

5.

2007年 5月 「IRON ROAD 和鉄の道」

2007.5.1.

2007年5月1日 新緑の里山の景色を伝えます



新緑の淡い緑につつまれた野山にいっせいに花が咲いています

2007年 新緑のアルバム

新緑が目にまぶしい季節 いつまでも 桜の花では・・・・と top page を5月の花便りに更新しました
今 野山は淡い新緑の緑につつまれ、その山裾や川の土手には 春の花が咲き誇っています。

「古代大和への鉄の道」を訪ねて せっせと通った大和川・亀の瀬 龍田山

日本有数の地滑り地帯ですが、大規模な対策工事の傍ら、素晴らしい春の里山風景が広がっていました。

また、今年も滋賀県日野 鎌掛の石楠花谷 清楚な花が谷の崖一面に広がり、都への帰りに通った比叡・八瀬の新緑も見とれるほどの美しさ。

桜の華やかさに対して、なんとなく 素朴でふんわりした新緑の野山。 独り占めにするのは惜しいので、近畿の春の里山の景色をお伝えします。

5月の連休いかが おすごしでしょうか・・・・・・

素晴らしい季節 お近くの野山の Country Walk をお楽しみ下さい。 なお、古代大和への鉄の道 亀が瀬・龍田越そして二上山 オモシロイ話を沢山聞きましたので、これから ゆっくりまとめます。

2007.5.1. Mutsu Nakanishi

2007年 春 新緑のアルバム by Mutsu Nakanishi



八瀬からみた比叡山・蛇が池の峰 2007.4.28.& 龍田越 峠 地滑り防止地区と雁多尾畑 2007.4.20.& 29.



新緑の緑を映す二上山山麓上の池 花の少ない裏の年でも鎌掛谷の石楠花群落には清楚な花が咲いていました

2007.4.28

2007.4.29.



金剛・葛城山地と生駒山地の切れ目から流れ下る大和川 急流亀の瀬 2007.4.20.

ここより上流大和側は古代「龍田川」と呼ばれ 数々の歌が読まれ、何度となく 地滑りを起こした
河内から大和への難所。この上の龍田山 御座峰には風神 龍田神降臨の伝承があり、
古代たたらの先進地 今も地滑り地帯には崩れ落ちた鉄滓塊がゴロゴロ???.



二上山 雌岳頂上より見た夕日に輝く大阪湾とその麓 竹之内街道の夕暮れ 2007.4.29.

大津皇子が眠る二上山 大和川・亀の瀬を挟んで龍田山と対峙し、河内から大和への山越の険しい道が通る
縄文人の道具の原石サヌカイトはこの北麓田尻峠周辺で産し、石器時代から この「二上山サヌカイト」を
求めての道があった。

現代はここを近鉄南大阪線と国道 165 号線が越え、山の南側を竹之内街道 南阪奈道路が越えてゆく

2007. 5. 1. Mutsu Nakanishi

6.

2007年 6月 「IRON ROAD 和鉄の道」 2007. 6. 1.



野山の緑に 水の入った田圃が映えて 光り輝いています
ほんのひと時の里山の美しさですが、田植えが始まると
まもなく 入梅。

今年は 越後平野のそんな風景を見ることができました。
緑がまぶしく、風来坊するには本当にいい時期。 もう
きつい山はよう歩かないし、緑に誘われて 元気に里山歩
きを楽しんでいます。 皆さんは いかがでしょうか・・
だんだん 足が思うように動かなくなり、物忘れはひどい
し、電車に 忘れ物はするし・・・・

「今 いかないと。 今見ておかないと・・・・」と
先を考える年代になった証拠かもしれません。

だんだん 世間から 遠のいていますが、そんな春の
Country Walk をもとに 6月のホームページを更新しました。

2007.6.1. Mutsu Nakanishi



新潟県弥彦山から越後平野 2007.5.16.

2007.5.16. 田圃に水が張られた越後平野 弥彦
山より海の中に 点々と島が浮いているような景
色が広がっていました

■ 萩焼の陶芸家 田中講平さん

日本工芸会山口支部設立 50 周年「第 30 回 記念伝統工芸新作展」への出展作品

「第 30 回記念大賞 日本工芸会山口支部長賞」を受賞

「日本工芸会山口設立 50 周年第 30 回 記念伝統工芸新作展」 山口県立美術館で 6 月 1 日から 10 日まで

新潟へ風来坊して 帰ってきたら 山口の萩焼 陶芸の田中さんから 「日本工芸会山口支部設立 50 周年第 30 回記
念伝統工芸新作展」の「第 30 回記念特別賞」を受賞したとの連絡。 日本工芸会山口支部は 萩焼の名だたる陶芸
家の集団である。これはすごい。本当におめでとうございます。

家内が陶芸教室でお世話になって以来 その素朴でやさしい人柄に ご夫妻と親しくさせてもらっている。

そのダイナミックな質感の中に細やかな風合い 萩の作品の中にこめられた「大胆さと優雅さ」にいつも勝手な素人
談義を吹っかけさせてもらっています。

さっそく お祝いにかけつけねば・・・と。 山口へ出かけてきます。

6月1日(金曜日)から6月10日(日曜日)まで 山口県立美術館でこの展覧会が開催されています。

萩の持つおもしろさ 是非 機会あれば お出かけ下さい。

前回の更新から 1.5 月 庭の草花もいっせいに鮮やかな花を咲かせ、野山は新緑に包まれ、本当に家にいたらもった
いない季節。 新緑の緑に誘われて あっちへいったり、こっちへ行ったり。 久しぶりに里山を沢山歩きました。
春の里山がこんなにきれいだったとは、再発見でした。



滋賀県鎌掛 石楠花谷 神戸北野旧水源地のつつじ 葛城山満開の山ツツジ 新潟県柏崎 砂鉄の浜

「よう 歩き回るなあ」といわれるのですが、「今 行かないと 見られなくなる。 今や・・・」と半ば脅迫觀念的
的な屁理屈を自分にこねながら。今は「たら」・縄文を キーワードに Country Walk を楽しんでいます。何と言って
も 平日動けること 思い立ったらすぐ出かけられる特権 最大限生かしています。「たら」や「縄文」をいってい
ると 野山や谷間そして山里のフリーな walk を楽しみながらの民俗学的興味も満喫できるのが、気に入ってる。

「日本に金属が伝わるとすぐに それぞれ 精鍛・生産がはじまるのに なぜ 鉄だけが 1000 年もかかるのか???」
長年 不思議に思いながら、やっと 自分なりの納得に到達できて、今は「鉄と日本誕生の関わり」 「本当に鉄が
戦を持ち込んだのか」など勝手なお題目を並べて、楽しんでいます。

また、「縄文のストーン サークルに魅せられて 約10年」 何と言っても関西に三内丸山遺跡のような大遺跡がないのが悔しいですが、「関西の縄文」を意識して歩いてみよう と思っています。

■ 河内と大和を隔てる壁 生駒山地と金剛・葛城山地の切れ目を大和から河内平野に流れ出す大和川



大和川 亀の瀬 三郷町大和川より龍田山 龍田山の頂上部 雁多尾畠から ぶどう園越しに大和平野の遠望
河内と大和を隔てる生駒山地と金剛・葛城山地の切れ目を切れ目を大和川が急流となって流れ下る。

電車の車窓に二上山の印象的な二つこぶがみるとまもなく 山が迫り、急斜面に河内ぶどうの畠が広がる狭い渓谷とその中央を流れる大和川。 何度も電車で通るたびによく見た景色でしたが、出かけていって 足を踏み入れてビックリ。さっと通り過ぎるだけでは語れない里山の春の風景とともに古代 「龍田の関」 が置かれた交通の要衝・難所としての歴史が今も続いている。

この難所を作り出した大地滑り地帯が古代 紅葉の竜田川と歌われた大和川「亀の瀬」渓谷の景観とともに「雁多尾畠 カリンドバタ」 心地よい響きの古代製鉄集団の集落がこの上の尾根に広がり、その尾根筋からは 東に 大和三山を中心とした大和平野 南に 二上・葛城・金剛山が重なり、西にははるか大阪湾までえんぼうできる河内平野が見渡せました。また、対岸の二上山山麓は縄文の「サヌカイト鉱山」そして 古墳の石棺の材料となる凝灰岩・金剛砂の産地。 龍田山・雁多尾畠から見るとどっしりと葛城山・金剛山が重なってみえ、この大和川・亀の瀬を挟んで 葛城・金剛とこちら側の龍田山が城門となって自然の城壁が続いている。久しぶりに 葛城山にも登りました。丁度 5月も下旬 山ツツジ満開の群落が山の南斜面全体を真っ赤に彩る葛城山にも行きました。結局 4回もこの春通いました。

■ キトラ古墳の「玄武」を見てきました また、大和ですが

5.23. 明日香 キトラ古墳のはがされた北の石壁に描かれた「玄武」を見てきました。

3時間待ちは優にかかると古代史の仲間から聞いて、朝 葛城山ヘツツジを見に登って 夕方 明日香へ。 1時間ほどで見ることができました。 修復にはいると「10年は見られない」と聞くと「やっぱり 見ておきたい」と。 また シリコンウエハーや液晶基板の精密切断に使われる「ダイヤモンド ソウ」で玄武が乗っている漆喰部が精密に切り離されたと聞くとこれにも興味。 本当に狭い石室の中で うまいこと切り離されて良かった。

公開された玄武の姿 蛇のほうの頭部分がちょっと見えにくかったですが、ほかは非常にきれいに見えていました。

この玄武のルーツはどこなんでしょうか・・・

そして この前にある5世紀の装飾古墳との関係は・・・・

朝日新聞は古代の百濟説を掲載していましたが・・・ 鉄の高句麗説も無視できないし・・・

はやく、修復が終り、石室に組み立ててほしいなあ・・・と。 それから これら 玄武・白虎など四神の下に描かれていた十二神将の壁画はどうなっているのか・・・心配しています

■ 新潟 古代「越」の大製鉄コンビナート 「柏崎市軽井川南製鉄遺跡」へ 行ってきました



古代 越の大製鉄コンビナート 柏崎市 軽井川南製鉄遺跡群 530 2007.5.15.

0.28 平方キロメートル(約 530m*530m)の広大な地に約 20 を超える製鉄遺跡がある 後方右手奥 米山

古代の大製鉄遺跡が日本海側の東北をにらむ地 柏崎で出てきた聞き、昨年資料を送っていただいたりしていましたが、やっと行つきました。保存がきまっておらず、もうなくなっているのでは…と心配していましたが、かろうじて見ることができました。

柏崎市南 西に米山を望む小さな枝尾根が多数広がる 0.28 平方キロメートル(約 530m*530m)広大な丘陵地 柏崎フロンティアパーク建設の造成用地に周辺隣接地を含め、8世紀末から12世紀に掛けての27もの製鉄関連遺跡があり、20基以上の製鉄炉 100基を超える木炭炉が出土。

発掘記録がとられたものから、すでに一部もう造成地になってしまっていますが、かろうじて、造成地の一番北東地区の千刈・大願寺地区に残る発掘された製鉄遺跡群を見る事ができました。

残念ながら、この地区も造成に回されており、もう 壊されるという。枝尾根の斜面に整然と製鉄炉・木炭炉が建ち並ぶ姿はほかでは見られない。規模の大きさにびっくりしましたが、ここもまもなく造成地へ。

日本海側に出土した古代の巨大な製鉄コンビナート 大和王権の拠点製鉄所に違いない。

大和王権の蝦夷対策・東北経営の拠点と夢を描いていましたが、柏崎市遺跡考古館の学芸員の人の話では、蝦夷征伐が終わってからの9世紀がこの遺跡群の最盛期で、出土している鋳物型なども武器・武具というより、生活用品だという。この造成地に隣接して 自然を生かした広大な柏崎・夢の森公園が造成されているというのに、こちら側が残せない。でも すごい 遺跡です。 ゆっくりまた、まとめます。



古代 越の大製鉄コンビナート 柏崎市 軽井川南製鉄遺跡群 千刈・大善寺製鉄遺跡地区 2007.5.15.



長方形箱型炉



半地下式竪型炉



半地下式竪型炉

千刈C製鉄遺跡地区の製鉄炉周辺

翌日訪れた弥彦山 九州英彦山 播磨の雪彦山と並ぶ金属精錬・とりわけ銅と関係の深い日本三彦山の一つ。

もっと厳しい山かと思っていましたが、越後平野の真っ只中に浮かぶ島のような存在。

飯豊・奥只見 守門岳 越後三山がぽっかり浮かぶ手前に太陽に映える越後平野 そして 海岸沿いに南には柏崎から出雲崎へと続く砂鉄の浜 その端に寺前の港 海のはるかかなたにうっすら佐渡が浮いていました。

佐渡金山など金属資源の島の佐渡 佐渡から見ると海の向うに浮かぶこの弥彦山から吹きつける風が金属精錬にかかりせず、信仰の対象 三彦山に数えられるゆえんであるという説もある。

田圃に水が入って 太陽に映える越後平野 まもなく田植えが始まると入梅です。

■ 縄文のストーン サークル



糸魚川市 寺地遺跡の配石遺構のジオラマ

縄文文化の一例 火焰土器 & 土偶

長岡市県立歴史博物館ジオラマ サークル状の2つの配石がつながれ、片方に4本の木柱が立っている

森の文化と呼ばれる縄文の魅力は どきにみなぎるダイナミックな造形と文様とともに、縄文の精神文化の象徴といわれる謎のストーン サークル・謎の木柱列。

大分歩きましたので、今までに訪れたことのある ストーンサークルをまとめようとしています。

ストーンサークルの目的はほぼ 共同墓地 分かれていた集落をつなぐ共同の祭りの場などといわれています。

天と大地をつなぎ、異界をつなぐとされる縄文の巨大木柱。これらが同じ遺構に見つかるのが、僕のイメージに一番近いと思っていたのですが、なんと新潟県長岡の県立歴史博物館にそんな縄文遺構を示したジオラマが展示されました。それも かつて訪れたことのある糸魚川市寺地遺跡の配石遺構。ビックリで 新潟の帰りに立ち寄ってきました。おりしも、三内丸山縄文遺跡や秋田大湯・伊勢堂岱遺跡や北海道鷲ノ木5遺跡などストーンサークルを持つ遺跡がつながって 世界遺産登録を また石川県真脇のウッドサークルも世界遺産登録を目指すという。

縄文の文様・文様倣度の稚拙さなど物づくり手法の連関から集落のネットワークを調べる小林青樹さんたちのグループの話を聞いた事があるので、ついに 弥生の始まりを示す遠賀川土器に東北の縄文の特徴が現れている。弥生の初期にすでに縄文人が北九州の弥生人の集落にきていた可能性があり、密接な接触があったことがわかつてきたり新聞に報じられている。縄文を無視すれば、無視するほど 縄文の新事実が出てくる。今縄文が面白い。まとまつたら また お知らせします。

縄文のストーンサークル なぜ円環に? そして そのアクセントとなっている日時計状 立石配石は何を意味するのでしょうか???

諏訪・伊勢の御柱につながると思われる巨大木柱 これも謎

みなさんには どのように映るでしょうか・・・・



青森 小牧野遺跡
ストーンサークル



北海道森 鷲ノ木遺跡
ストーンサークル



大湯ス中野堂トーンサークルの日時計状配石
ストーンサークル

やっぱり、2か月分一緒に掲載しようとすると数が多くて 無理ですね・・・・

ちょっと 中途半端なものになってしましましたが、元気にやっています。

また、ご意見 情報など メールください。

ホームページ更新記事の概要

■ 和鉄の道 Iron Road たたら遺跡探訪

1. 古代物部氏のルーツ伝承 備前一宮 「石上布都魂神社」を訪ねて Country Walk

鉄道もバスもなし 中国山地の山又山の中 とってもミステリアスな Country Walk 2007.3.15.

3月15日 春 JR18 きっぷで出かけた古代製鉄を支配した物部氏ルーツといわれる吉備中国山地の石上布都魂神社。歴史作家の関裕二氏の「古代大和王権確立に出雲とともに動いた吉備=物部氏」説に非常に魅かれています。その根拠になっている岡山県中国山地の中にある「石上布都魂神社」 大和石上神宮の元宮だという。大和石上や河内に本拠を置いて 古代大和王権の軍事・生産部門を担った物部氏。 古代の製鉄・鍛冶の中心的役割をもはたした大豪族。 大和へ入る前のルーツは定かでなく、九州や西出雲だともいわれている。



物部氏のルーツとも言われる岡山県赤磐市 中国山地の山又山の中 石上 布都魂神社（元宮 磐座）

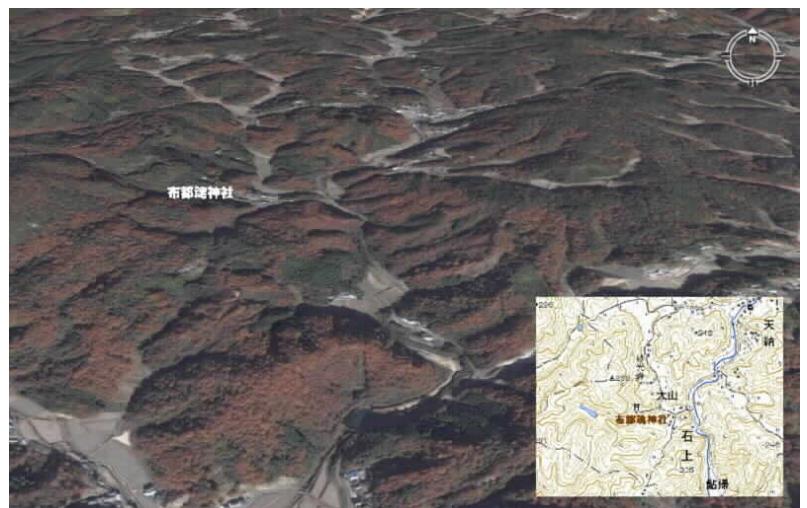
この布都魂神社周辺岡山東部から中部にかけての中国山地は古代吉備の大製鉄地帯で、物部氏の痕跡が点々とあり、この周辺には何度も出かけたことがあるのですが、「石上布都魂神社」については 詳細知りませんでした。

この「石上布都魂神社」の位置を地図で調べると、岡山県東部を南北に流れ下る旭川と吉井川に挟まれた中国山地の山の中 赤磐市石上。それも道のないところに神社の印。また、石上の地名が隣り合って 御津町にも吉井町の両方にあり、御津町は旭川流域につながる岡山市吉井町は吉井川流域の赤磐市。

生活圏が違うだけでなく、古代の吉備の中心につながるには旭川流域でないとはなしがあわないし、私の知っている物部氏の痕跡も旭川流域。赤磐市役所に電話で石上布都魂神社へのアクセス聞くと「車でないと……。」という。そして「岡山市と岡山東部湯郷温泉の近く姫新線林田駅を結ぶ急行バス路線で仁堀で降りて、後は1時間ほど歩いてください。最寄の鉄道駅はありません」と不思議そうにいう。

ほんとに どんなところだろうか・・・ 歩いていって 帰れるのだろうか…… と物部氏をさておいて その位置にも興味津々。

行ってこれらの謎解けましたが、ミステリアスな所でした。



岡山県赤磐市 中国山地の山又山の中 石上 布都魂神社の位置

でも 山また山の深山でなく 里山が連なる明るい場所の山の中に隠れるようになりました。
誰もいない山中の岩山を登ると 大きな磐座がそのままどっしりと座っていて、 山又山を見下ろしているのには
やっぱり、この地が中心であった時代があったかも・・・と、感激でした。

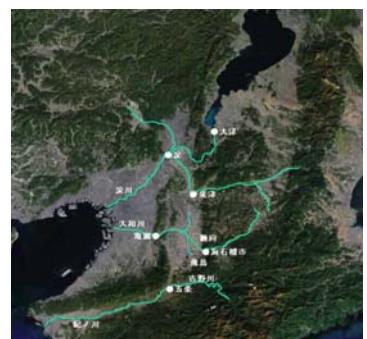
2. 古代 大和への鉄の道【2】 大和川 「亀の瀬・龍田越」 Country Walk 2007.4.20. & 4.29.



大和川 亀の瀬



三郷町の大和側土手より 龍田山を望む 古代大和への入り口は3つの水系



日本誕生に関わった古代大和への鉄の道。

前回の淀川・木津川そして奈良坂を訪ねる walk に続いて 淀川水系の難所 亀の瀬 そして 龍田山越の古道を訪ねました。

河内と大和を隔てる壁となつて南北に連なる金剛・

葛城山地と生駒山地。

その間の切れ目 亀の瀬
を急流となつて流れ下る

大和川。古代 難波から三輪山の麓「海柘榴市」の港まで大和川を遡つて都についたと記されているが、本当に亀の瀬を遡れるだろうか…

単純に亀の瀬を見に行こうと始めたこの walk でしたが、この渓谷周辺は大阪湾から吹き上げる風の通り道。

大和側の渓谷の入り口三郷には風神 龍田神 を祭る龍田大社があり、渓谷の北側龍田山の上には古代製鉄集団「雁多尾畠」の集落が頂上近傍の尾根斜面に広がりあり、山中には古代製鉄遺跡の痕跡が点々とありました。

また、この龍田山・亀の瀬は その素晴らしい景観とともに 古代から日本有数の地滑り地帯。

今もその防止の大工事が続いていましたが、その地滑りで崩れた山からは 磁石にひつつく石がゴロゴロ。

この地域で初期大和王権の大製鉄鍛冶工房が開かれるのは この亀の瀬に散らばる鉄鉱石ではなかつたか・・・と。

いつも電車から眺めていた「亀の瀬」 行つて見るのでは大違い。 オモシロイというとちょっと問題がありますが、こんなに面白い里山 そして 古代製鉄の里が近くにあったとは・・・そんな感じでした。



大和川 亀の瀬 walk Map



亀の瀬周辺の衛星写真からの亀の瀬鳥瞰写真

大和川 亀の瀬は日本有数の地滑り地帯 今も防止対策工事が続く

■ Country Walk 風来坊

1. 写真アルバム 「2007年5月 新緑の野山で」

- 滋賀県日野町鎌掛 石楠花谷
- 新緑の里山 大和川 亀の瀬・龍田山
- 大阪府二上山周辺
- 神戸 北野の市街地 旧水源地のツツジ
- 葛城山の南斜面 深紅の花を敷きつめる山ツツジ
- 新潟県 弥彦山から見る越後平野



二上山 上の池



亀の瀬 地滑り対策



弥彦山より 越後平野



山ツツジ満開の葛城山南斜面

桜の花が咲き終わると野山の花は石楠花とツツジ。 やっぱり 山に入って 自然の中に咲く石楠花とツツジを眺めることができました。

また、久しぶりに 神戸のツツジの名所 北野の旧水源地にも出かけました。

大和と河内を分けて 南北に連なる金剛・葛城山地と生駒山地。

この切れ目の渓谷を大和川が河内へ流れ下る。この周辺は龍田越 大和への古道が亀の瀬の難所を避けて通る。 この古道を訪ねてみた新緑に包まれた春の里山。本当に素晴らしい景色でした。

そして、田圃に水が入り、田植えの準備が始まるとまもなく入梅。 田園風景がもっとも光り輝く時期。 思いもかげず、そんな越後平野の風景を見てきました。

なんやかやいいながら 風来坊でこの春訪れた野山の風景の写真アルバムです。



滋賀県鎌掛 石楠花谷 神戸北野旧水源地のつつじ



葛城山満開の山ツツジ



新潟県柏崎 砂鉄の浜

■ 思いつくまま from Kobe

【from Kobe 6月】 「この春 風来坊で感じた地方の疲弊」

地方格差・公共交通の崩壊が進んでいます そして 中央では絶対見えないほころびが・・・

7.

2007年 7月 「IRON ROAD 和鉄の道」

2007. 7. 8.



山口県防府市牟礼上阪本

阿弥陀寺の紫陽花

2007. 6. 12.



6月中旬 山口県 美祢に行きました 左より 日本海豊浦海岸 仙崎の町 下関海峡 2007. 6. 9.



越後の名峰 弥彦山と弥彦山からの越後平野ならびに寺泊海岸 2007.5.16.

5月に出かけた日本三彦山のひとつ弥彦山は越後開拓の神 鍛治神の伝承がありました

7月のホームページ更新をしました。

ホームページの背景の壁紙は 6月 久しぶりに訪れた山口県長門 青海島の海の色です。断崖絶壁の続く青海島の外海側と仙崎湾を作る静かな内海。久しぶりに青海島の観光船に乗って見た断崖下の岩場 黄金洞周辺の海の色 青海島の海です。

梅雨の真っ只中うっとおしい天候が続いているが、いかがでしょうか 地球温暖化の影響か? 梅雨も今までの常識が通用しない男性的な集中豪雨が局所を狙い撃ち 気を付けてください。

梅雨になるといつも気になっていた溶接材料の湿気 今年は 忘れかけていました やっと会社人間から脱出できたのでしょうか… でも 一緒に仕事してきた会社人間の一人が、思いもかけず 春 なくなったと聞きました。 ぼくが職を離れる頃 大病をして 病気と闘いながら会社復帰がんばりとおした会社人間。今は安らかに・・・・と。

随分会社からは離れたと感じています。

欧米では 多くの人たちが隠遁生活を楽しむといいますが、会社人間であり続けて終える一生と第二の人生をはじめて終える一生と日本ではどっちがいいのだろうか?? ふっと そんなことが頭に浮かんだ6月。

また 多くの人が今までの職を離れ、新しいスタート。

先日も出会った同世代の仲間は新しい会社ビジネスを起こすと目を輝かしていました。

僕には もう そんな世界に飛び込むこと出来ませんが、そんなエネルギーに万歳です。

「縄文のサヌカイト鉱山 二上山の周辺で サヌカイト探すのですが、見分けがつかぬ」とふと話したのですが、「二上山で拾ったサヌカイトの石をもって来たげた」と大きな石を黒曜石などのコレクションと一緒に持ってきてくれました。こっちはこっちで古代史や鉄の探索に夢中です。

そんなこともあって ふと 上記のような感慨にふけった次第。

どっちでもいいのしようが、夢中になる世代 それがいつまでもつつけばいいと願っています。

2007.7.8. 神戸にて Mutsu Nakanishi

■ 6月中旬 山口県美祢に行きました

萩焼きの陶芸作家 田中講平さんが 「日本工芸会山口設立 50周年第30回 記念伝統工芸新作展」の大賞を受賞されたお祝いと山口市で開催された陶芸展を是非見たくて、半年振り 6月8日から1週間 山口へ行ってきました。

田中さんの作品は僕の一番好きな青色 青白磁草花文鉢の大作。 一点の曇りもないこの「青」と60センチを超える大作でありながら 均整の取れた素晴らしい底から上面へのウェーブ。やっぱりすごいなあ・・・と。

写真では中々色がでないので・・・・。

どうぞ 田中さんのホームページご覧ください。



長門青海島 黄金洞周辺 2007.6.9.

HP の背景に使った青海島の海です



陶芸 そして 山口のよもやま話 田中さんご夫妻と夜遅くまで語って また ひとつ 「萩」の深さを知りました。
また、6月中旬は 美祢の谷間の小川に螢が乱舞するシーズン。
「今年は是非 河に飛び交う螢をみにいこう」と神戸からの行く道で話していたのですが、真っ暗な川面に飛び交う螢を
豊田湖のダムから少し下がった木屋川で見ることが出来ました。会社横の川にも螢が飛び交ったのですが、河の改修など
で 街中近くではめっきりみられなくなり、美祢の螢自慢も出来なくなっていました。
隣町の豊田町(合併で下関市豊田)の木屋川は螢鑑賞船「螢舟」が出る西日本有数の名所。今年も螢舟が出るという。
「家内に本当にいるの」と信用されていなかったのですが、誰もいない真っ暗闇の峠にかかる集落のはずれの暗闇の中に
「点いては消え 点いては消え」。川を飛び越えたり 高く舞い上がるのもいる。
静寂の中の無言劇に見とれています。
前にここで 見たのは随分前 僕だけの場所なのですが、時期があって 本当にラッキーでした。
螢の乱舞する様を一度は写真にしたいのですが、成功せず。
次の機会はタイマーワークで三脚置いて・・・・取って置きの場所です。

また、家内が大宰府知らないというので、大宰府と新しく出来た九州博物館 そして糸島半島の付け根 新しく九州大学
が移転中の元岡キャンパスにも行ってきました。
元岡キャンパス周辺は大陸・朝鮮半島に備える古代大和王權の武器庫 大製鉄コンビナートのあったところ。
大学も 独立法人になって 見学者用のコース 見学者用案内所までありました。
そのうち入場料取られるかも…と思われるほどいい建物群と素晴らしい場所でした。
もっとも 元岡製鉄遺跡群の話にはちんぶんかんぶんで、がっかり。
でも きっちり 下見が出来ました。 また 後日 ゆっくりまとめます。



九州 大宰府（左・中）と右端 古代の大製鉄コンビナートがあった九大元岡キャンパス 2007. 6. 10.

まもなく 祇園祭 早く7月の更新しないと 思いながら 映画も見たいし・・・・
第二の生活エンジョイ組の仲間も増えて 酒飲むのもたのしみ
「発掘された日本列島 考古学新発見速報」2007年展か東京江戸博物館で始まり、そっちの新しい展開も気になる。
家内ほどでは ありませんが、あっちへふらふら こっちへふらふら
ホームページの更新が、ついつい 今日になってしまいました。

5月訪れた越後 弥彦山Walk と越後の古代の大製鉄コンビナート柏崎軽井川南製鉄遺跡訪問記ならびに 山口に行って
久しぶりに訪れた 金子みすゞの暖かい詩にふれられる長門市仙崎の街Walkなどをまとめました。
今までに訪れたストーンサークルなど縄文遺跡を「円環」と「御柱」をキーワードにまとめようとはじめたのですが、まだ、
中途。紀ノ川や御所にも生きたいし、紀ノ川沿いの山に磁石石 そして 関西では「鉄」を背景とした繼体天皇の足跡と
福井がブームと友が教えてくれる。韓国慶州の鉄も見に行きたい。興味の対象はひろがるばかりです。

また、沖縄・広島・長崎 そして 街では 参議院戦 「平和」 「平和」 の言葉が耳に入ります。
はっと「平和」の言葉に「自分になにができるのか」を思い巡らしています。
「核抑止力」の屁理屈よりも「核は廃絶あるのみ」
「平和を」とつぶやくことしかできませんが、それも第一歩です

地球環境にも待ったなし

自分がいやおうなしに 関わらねばならぬ時代に差し掛かっています。

今月も雑な更新になりましたが、元気な印 お付き合い下さい。

また、次は 9月更新とさせていただきますが、 感想・ご意見など お聞かせ下さい。

2007. 7. 8. ホームページ 更新 思いつくままに

Mutsu Nakanishi

ホームページ更新記事の概要

■ 和鉄の道 Iron Road たらだら遺跡探訪

1. 日本三彦山の一つ 越後 弥彦山 Walk 古代鉄の国「越」 弥彦山に鍛治神の痕跡を探して



1. 日本三彦山の一つ 越後 弥彦山 Walk
2. 越後平野の不思議な地形 謎の越後平野 (資料)
3. 弥彦山と鍛治神伝承 (資料)

5月に出かけた越後 弥彦山 walk をまとめました。

弥彦山は日本三彦山の一つ 越後平野のどこからでも見える山 越後開拓の弥彦の神として人々の崇敬をあつめてきた。



この弥彦山に古代鉄の痕跡を訪ねました。また から不思議で仕方なかった新潟への JR 鉄道網やこの弥彦山地をふくめ、越後平野は不思議な地形。

その謎を調べました。この越後平野が日本の大地溝帯フォッサマグナの中にすっぽり収まること そして このフォッサマグナ帯が越後の謎に深く結びついている。



2. 古代「越」の大製鉄コンビナート 越後柏崎 軽井川南製鉄遺跡群を訪ねて



1. 柏崎 軽井川南製鉄遺跡
2. 柏崎市遺跡考古館を訪れ 砂鉄を見に柏崎海浜公園へ
3. 軽井川南遺跡群の製鉄炉 再度 軽井川南製鉄遺跡へ 製鉄炉の確認
4. 柏崎 軽井川製鉄遺跡群を訪れて まとめ

自立できるようになった鉄の生産を背景に 律令体制を確立した大和王権はその支配力をたかめて、地方経営に乗り出した。畿内で量産安定化に成功した新しい大型たら爐をベースに鉄素材の生産から鍛造・鋳造による製品までを作る大製鉄コンビナートを各地の重要拠点につくったとおもわれる。

東国経営の日本海側の拠点「越」でそんな大製鉄コンビナートが見つかった。

蝦夷征伐の拠点化とおもっていましたが、その後9世紀の大製鉄コンビナート。

甲子園の約20倍の広い丘陵地の幾つもの丘陵地の斜面に 幾つもの製鉄炉や木炭窯が発掘されたままの姿で立ち並ぶのは壯觀でした。 こんな大きな製鉄コンビナートが柏崎で300年以上も営まれた経緯は未だ謎。

でも すごい製鉄遺跡です。

でも もう まもなく 柏崎フロンティアパークの用地に消えてしまう。しっかり見ておかねば…と見学してきました。日本文化の源流に深くかかわってきた鉄 個々の製鉄炉だけでなく コンビナートの役割を担った全体が保存できないものか???? と残念です。

いつ壊されてしまうかと気になっていましたが、本当に最後 発掘されたままの姿で立ち並ぶ製鉄遺跡遺構群を幸運にも見ることが出来ました。



■ Country Walk 風来坊

1. 久しぶりに童謡詩人「金子みすず」の街 長門市仙崎を訪ねました



「前に紹介してもらった金子みすずの街 長門市仙崎へ行ってきたよ。金子みすずの詩の札が家々の軒先に下げられていて、それを眺めながら ゆっくり歩いてすごく 良かった」

6月9日 山口県美祢でくつろいでいて、ふと友達の言葉を思い出して、半日ぶらぶら仙崎の町を歩きました。

手作りの金子みすずの詩の札が街の通りを見守っている。

友達に教えてもらうまで、こんなにゆったりすごせる街になっているなんて知りませんでした。

熟年者の鈍行の旅にはお勧めです。また もう よくご存知だと思いますが、金子みすずの詩も是非 お勧め。

2. 写真アルバム 防府 阿弥陀寺のあじさい

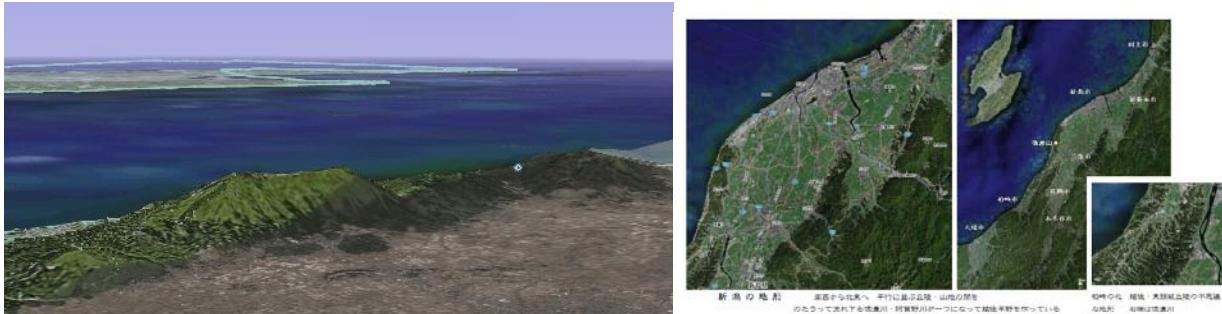


山口県防府市の山裾 卯礼上坂本に紫陽花で有名な阿弥陀寺。

ホームページのトップに掲載した紫陽花の数々。淡い緑につつまれた境内の池や山の斜面いっぱいに 数々の紫陽花が咲いていました。 いろんな種類の花に家内は名前を確かめ、目を輝かしていました。

梅雨時の雨あがり やっぱり この時期 一番美しい花 この花が咲くと夏まじかです。

3. 日本三彦山の一つ 越後 弥彦山 Walk 古代鉄の国「越」 弥彦山に鍛治神の痕跡を探して



1. 日本三彦山の一つ 越後 弥彦山 Walk
2. 越後平野の不思議な地形 謎の越後平野 (資料)
3. 弥彦山と鍛冶神伝承 (資料)

「和鉄の道」に掲載した越後 弥彦山 walk Country walk 風来坊にも掲載しました。

深田久弥が「日本百名山」のあとがきで

「山 高きをもって尊しとせず。だが、ある程度の高さが無くては、私の指す山のカテゴリーには入らない。
例えば、越後の弥彦山や、京都の比叡山や、豊後の英彦山など、昔から聞こえた名山には違いないが、
あまりに背が低すぎる」と書いた山。

1000mにも満たないやまですが、すばらしい景色と古代からの伝説を秘めた山です。

また 新潟の地形の謎解きもおもしろかったです。

8.

2007年 8月 「IRON ROAD 和鉄の道」

2007.8.1.





神戸スカイスタジアム 花火ナイト オリックスー楽天戦 2007.7.27.

9.

2007年 9月 「IRON ROAD 和鉄の道」

2007.8.25.



2007年 夏 近畿の里山で

まだまだ 猛暑が続いています いかがお過ごしでしょうか…

思いがけない 中越沖地震の発生。 5月に出かけ、親しく出会って 色々教えていただいた柏崎・弥彦山の街が被災。 心配しています。TV の画面を見るたびに 一日も早く 元気に立ち直られることを祈っています。

季節感が1ヶ月ほど ずれたような猛暑の暑い夏が続き、また この間に本当に色々ことがな事が起こって、頭の中が混乱していますが、皆様のところではいかがでしょうか???

2ヶ月ぶりの更新 9月のページにホームページを更新しました。

お盆の大型連休 サラリーマン時代の「さあ 休み」とごった返す新幹線に飛び乗った感覚は遠い昔になりましたが、東京から 娘一家が帰ってきて、本当に華やいだ1週間。アニメの映画に 水族館 海水浴 恐竜の化石を見に行ったり、四国で拾ってきたカンカン石で縄文の包丁の実演やって、パソコン使って トマスの汽車やアニメの主人公のスライドを見せたり。「今年は おじいちゃん 作文に登場するために がんばったね」と孫娘。

元気に帰っていって、また、静かな日々に戻りました。

本当に暑いアツイ夏でしたね。 と言っても まだこのまま続きそうですが……。

猛暑が続き 世の中の殺伐度もさらに ヒートアップ。でも 参議院選挙があって、 やっと 薄っぺらな言葉に酔ったような多数決万能・効率万能の方向に歯止めがかかって、風向きが少し替わったようです。

8月5・6日広島でのクリスチャンの平和の祈り・平和行進 今年も出かけましたが、本年は昨年以上に「平和の願い・祈り」や「平和行進」の訴えが、力になって行くように感じています。

一方 「今 やらなければ・・・・」「風化させてはならない」の切実な声とともに、世代をつなぐことの重要性や難しさも感じて帰りました。



広島でのクリスチャンの平和の祈り・平和行進 2007.8.5.

言葉に酔って みんなと一緒に 己を他人に任す時代。 「はっと」 我に返って 振り返ってみれば 自分も取り残され、繁栄は はるか かなたのよその人。切り捨てられた人の痛みが解る

何か 変わりそうな 変わるわることへの期待がもてそうな時代

そんな 一つに 少しでも 自分が参加できれば・・・・と。

そんな 8月 歩いていて 感じたことをそのまま気ままに記しました。

7月 8月とあいかわらず、足の向くまま 気のむくまま歩くのを楽しんでいますが、今月は今まで溜まっていたものなど少し整理して更新しました。

梅雨が明けるのを待ちかねて、 古代大和へ入る道 残っていた和歌山 紀ノ川流域の walk をはじめました。

この川筋は古墳時代から 大陸・朝鮮半島と大和を結ぶ和鉄の道 古代鉄の痕跡が必ずあるはず。

和歌山から橋本・五条そして吉野から大和へ。馬のいない5世紀 本当に紀ノ川を大和までさかのぼれたのだろうか…それを確かめたい。調べていて見つけた 紀ノ川沿いの紀州富士「龍門山」の地図にある「磁石岩」そして ここを本拠として 朝鮮半島との交易を担った紀氏の物と思われる大古墳群が丘陵地にある。(紀伊風土記の丘 古橋古墳群)



紀ノ川河口の和歌山製鉄所 遠望

麓を流れる紀ノ川を見下ろす龍門山

大陸・朝鮮半島と古代大和を結ぶ和鉄の道 紀ノ川流域 2007.7.24.

紀ノ川沿いには足を踏み入れたことなく、僕の頭は 子供の頃の 九度山 霧隠才蔵・猿飛佐助の活躍する深山の世界

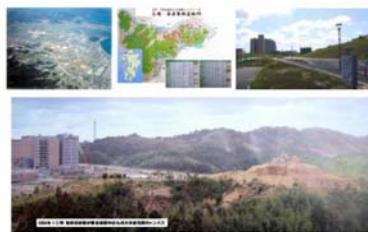
そして、中央構造線沿いに鉱物資源や水銀などを求めて 山伏達が分け入った世界をイメージしていましたが、そのイメージとはまったく違う明るい谷筋で 大阪近郊の田園都市ベットタウンで、 そんな中を 東の大峰・吉野の山から西へ とうとう 紀川が流れていきました。また、昔 随分通った紀川河口の和歌山製鉄所 その姿を 久しぶりに 紀川鉄橋や山の上から見られ、懐かしさでいっぱいでした。

そんな中から 第一弾 紀川沿いに秀麗な姿でそびえる紀州富士「龍門山」へ「磁石石」を確認に行こう。
いけば 何かがあるはずと、夏の青春18キップ片手に登ってきたハイキングの記録をまとめました。

6月山口へ行ったときに訪ねた福岡九州大学の新しい伊都キャンパス内 古代 大陸からの侵攻をにらんだ大和王権の大製鉄コンビナート元岡遺跡の walk をまとめました。もう キャンパスの建設が進んでいて 遺構そのものは見られませんでしたが、

玄界灘に突き出た糸島半島と建ち並ぶ製鉄遺跡万葉集 防人の歌でしか知らなかった世界に一步 足を踏み入れてきました。

山口県 油谷半島 棚田の夕景 油谷半島 東後畑の棚田 6月



また、6月 山口美祢の仲間がメールで送ってくれた素晴らしい山口県油谷半島の棚田の夕景の写真や 以前から行きたかった四国鳴門の大塚美術館の数々の西洋絵画原寸の陶板画にも出会ってきました。どちらも A4 判の写真アルバムに整理しました。



縄文の会で自分の番がまわってくる。何をしゃべろうか・・・・と。
製鉄遺跡の遺構も随分たずねましたが、その中で縄文遺跡にも随分 寄り道。
なんせ、どちらも山裾の山の斜面。 製鉄遺跡が 里から見えぬ谷に面していることが多いのに、縄文遺跡は展望が効く すばらしい景色のところが多い。
その中で見た 日本人・縄文人の心の故郷といわれる「ストーンサークルなど円環」

出かけた縄文の円環遺構遺跡を整理して紹介しようとまとめました。それを PDF file にしましたので、一緒に掲載。

みなさんには 縄文の円環 どう 映るでしょうか・・・・



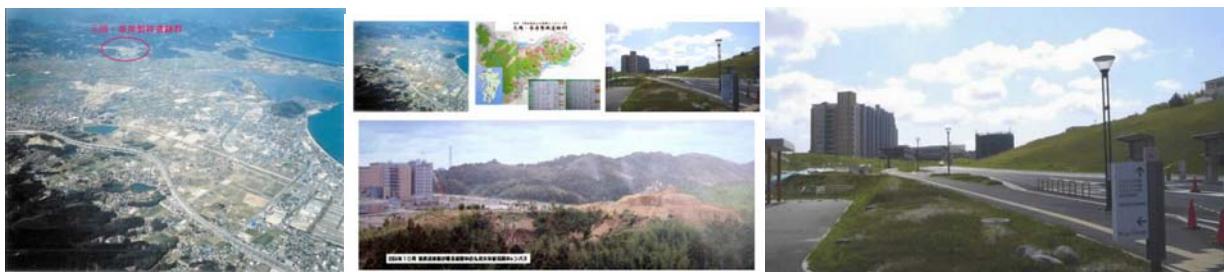
9月の声を聞けば 秋 でも今年は1ヶ月 季節がずれているようです。
まだまだ、暑い日々が続きますが、ご自愛下さい。
また、季節の便りなど 御知らせ下さい。

2007.8.25. 神戸にて
Mutsu Nakanishi

ホームページ更新記事の概要

■ 和鉄の道 Iron Road たたら遺跡探訪

1. 古代 九州の大製鉄コンビナート 福岡元岡製鉄遺跡群を訪ねて 2007.6.10.



1. 元岡製鉄遺跡群が眠る九州大学 伊都新キャンパス walk (1) センター地区

2. 古代の製鉄炉群遺構が出土した12次調査地点・24次調査地点の製鉄遺跡 概要

(「鉄と古代国家～今治に刻まれた鉄の歴史～」福岡市元岡・桑原遺跡の調査概要(菅波正人)より)

3. 元岡製鉄遺跡群が眠る九州大学 伊都新キャンパス walk (2) 東地区と総括

8世紀 律令体制の整った大和王権は地方拠点に官営の大製鉄コンビナートを経営して その支配力を高めていった。一方 大陸からの侵攻におびえ、全国から防人を徴用し、防備の体制を整えていた。

玄界灘に突き出た糸島半島の丘陵地には、整然と多数の製鉄炉が建ち並び、重要拠点九州の鉄の大供給基地であった。いま、この地には九州大学の伊都キャンパスが建設中。

福岡市の西端 古くから 伊都国として栄えた丘陵地 素晴らしい眺めの丘に整然と製鉄炉が建ち並んでいた。一度 出かけたかった場所。やっと実現しました。



2. 縄文の心を映すストーンサークル 【PDF file】

縄文の遺跡を訪ねて 風来坊 縄文の円環遺構 レビュー



1. 縄文の時代区分と縄文文化
2. サークル遺構のある縄文遺跡リスト
3. 円環遺跡を有する縄文遺跡【1】
4. 円環遺跡を有する縄文遺跡【2】
5. まとめ 縄文のストンサークルとは???

参考 1. 木柱列と配列遺構の両方が一緒にみつかった糸魚川市寺地遺跡

参考 2. 縄文の社会と文化概説

縄文人が育んだ森の文化。ストーンサークルと御柱はそんな縄文人集落の象徴か????
縄文の交易品「翡翠」の原産地近く糸魚川市の海岸に近い高台にストーンサークル状の配石遺構と御柱の両方があり、翡翠の加工工房を営む縄文集落がある。これは縄文の村の完成品か…と強く魅かれました。
縄文人の心を映すといわれる円環が木や石で数多く表現され各地に縄文以降として残っている。
随分歩いたとふっと気がついてこれらを整理してみました。

3. 古代大和への道【3】 紀ノ川水系【1】

紀ノ川のランドマーク 紀州富士「龍門山」に磁石石を訪ねて Walk



1. 紀ノ川のランドマーク 紀州富士「龍門山」へ
2. 紀ノ川にかかる龍門橋を渡って 龍門山登山口へ
3. 田代峠を経て磁石岩へ
4. 磁針が狂う磁石岩
5. 龍門山頂上と紀ノ川流域の展望
6. 帰路は蛇紋岩の巨岩「明神岩」から、中央コースを降りる
7. 龍門山温泉につかって、龍門山 walk を振り返って



古墳時代 大和に膨大な鉄が集積し始め、纏向 そして三輪王権が成立してゆく。

大和へ卑弥呼が外からやってきたとしたら、どの道から入ったのだろうか?????

鉄は当時 鉄素材の供給を朝鮮半島に頼より、朝鮮半島から 大和への鉄の道があった。

いったい この鉄の道はどこを通っていたのだろう。

馬が入ってくる以前の時代もふくめ、候補ルートは淀川・木津川 大和川 そして、紀ノ川の3つ。

紀ノ川を当時 大和へ遡れるか??? この流域に鉄の痕跡を探すカントリーウォークのその第一弾。

紀ノ川の河口から見え、古くから 海行く人の目印になっていた秀麗な山が紀ノ川が麓を流れ下る紀州富士「龍門山」

その頂上付近にはコンパスの地震が狂う「磁石石」があり、この石を含め、このやまと山頂部には鉄分の多い蛇紋岩と聞く。この山へ登って 紀ノ川の流れを見たい。そして 近畿でやっと確認する磁石石。

梅雨が明けるのを待ちかねて 出かけました。

■ Country Walk 風来坊

1. 鳴門 大塚美術館に西洋美術 2000 年の陶板画を訪ねる

バチカン システィーナ礼拝堂の天井画 完全復元 祝別式に参加



2m*1m の大形陶板を並べて 原寸で完全復元された西洋絵画の名品の数々。

本当に現物を見ているのと変わらぬ完全復元にビックリ。その膨大な数。自分の知っている絵に何枚となく出会え、しかも顔をくっつけて、好きな絵の前で写真撮るのも ok。その膨大なコレクションが系統的にならべられているのもいい。疲れたら、庭に出て、鳴門の潮風に吹かれながら、海を見るのもいい。

ちょっと 入館料が高いのが、気になりますが、ゆったりと すきなように 好きな絵を見られるのがいい。

セラミックスにもかかわった私には 絵もさることながら この大判の薄い陶板が 歪もなしに焼け多事にもびっくり。すごい技術です。

今回 初めて 訪れた美術館 どんな絵があるのか 僕のデジカメで撮れた写真で紹介です。

バチカンのシスティーナ礼拝堂のミケランジェロの最後の審判と天井画が完全復元され、礼拝堂(ホール)として 完成した祝別式にも参加。ミケランジェロの最後の審判 ならびに 天井画に描かれている人物などの絵の解説をうかがいましたので、一部わかる範囲で載せました。

神戸に近いので、うれしい美術館 お勧めの美術館です。入場料がもっと下がれば よいのですが・・・・。

2. 写真アルバム 山口県油谷半島 棚田の夕景 東後田の6月

美祢市のYさんからの写真メール

7月の初め、山口県美祢市のYさんから 山口県の日本海側 油谷半島の棚田の夕景が素晴らしいと写真を送ってもらいました。

その写真アルバムです。

この油谷半島の下の海では この季節 イカ漁が盛んで、その漁火と棚田の両方が写っていて、私も自慢したくなる山口長門の景色です。

山口県 油谷半島 棚田の夕景 油谷半島 東後田の棚田 6月



■ 思いつくまま from Kobe

1. 8月 広島で感じたこと 風化させてはならないのは 何なんでしょうか .
2. この夏であった不思議な石 「カンカン石」と呼ばれるサヌカイトと蛇紋岩



縄文人の道具の原石 サヌカイト

叩き割ると 黒スパッと鋭い黒い剥離破面が出る
叩くときれいな金属音がして
「カンカン石」と呼ばれる



光沢のある蛇がら文様の美しい蛇紋岩

地球のマントルに一番近い成分の石
いま、地中奥深くで この蛇紋岩などに炭酸ガスを吸わせる
地球温暖化防止策の研究が進んでいます。

10.

2007年 10月 「IRON ROAD 和鉄の道」

2007.10.1.



2007年 初秋



実りの秋を迎えました 西神戸 伊川谷で



2007.9.28.

「収穫の秋」到来 田圃には稲穂が揺れ、その畠では曼珠沙華やコスモスの花が揺れています。

どうも 1週間以上季節感がずれているようですが、やっと初秋の風景が見られるようになり、吹き渡る風も涼しくなってきました。 「真っ青な空をバックにゆれるコスモス」と「実りの田圃 畠一面を赤い花が埋めつくす」そんな風景の中で 一気に日が短くなって、秋が深まってゆく。

今年は近畿でも 初秋の風物詩として 曼珠沙華の花が伝えられるようになりました。

一番印象に残る山口の初秋の風景なりですが、今年は西神戸の田園でも。 何かもの悲しいイメージが付きまとう花ですが、稲穂が揺れる夕暮れ 一番秋を感じる花です。

突き抜けるような 青空をバックに咲くコスモスは気分爽快 晴々。こっちは 行動的な気分を演出してくれます。

「曼珠沙華」と「コスモス」ではないですが、 気分があっちへ行ったり、こっちへきたりの毎日ですが、家の外へ出て Country Walk には 本当にいい季節です。

また、この秋には 思いがけない同窓会の誘いの連絡も。 「懐かしく 行きたくもあり、 また ちょっと不安も」 「今 でかけんと いつまた会えるか」と出来るだけ 顔を出すことにしています。



コスモス

稻 穂

曼珠沙華

オクラの花

オクラの畑



美濃市を流れる長良川 讃岐石の原産地 「金山」周辺 とうとうと五條を流れ下る紀ノ川 黒曜石の原産地 星糞峠

2007. 9. 10.

2007. 8. 6.

2007. 7. 31.

2007. 9. 6

日本国中のJR 鈍行が一日乗り放題の切符5枚が一組 7月末から9月10日までの「夏の青春18きっぷ」。今年は 四国坂出の縄文のサスカイト鉱山Walk と 古墳・古代時代の紀ノ川水系の古道「紀路」に古代鉄を訪ねるWalkに使いました。9月10日1枚残った18キップで岐阜県の関・美濃へ行きました。

うまいことゆけば 東海/北陸縦貫ルート 旧の越美南線・北線をつないで白山越出来るかも…の期待もあったのですが、1日ではやっぱり無理でした。また、鉄のなかった時代 時代を動かした石器材料 縄文の交易品について 原産地を訪ねたり、関西の縄文遺跡にも 今興味を抱いています。

9月5・6日 縄文の仲間約30名で この春から計画していた「信州の縄文を訪ねて 伊那・塩尻・長和町星糞峠」の1泊2日のバスツアーに行ってきました。台風襲来の前日 雨を心配したのですが、なんとか持ちました。訪ねた遺跡でその地の学芸員の人たちから、ダイレクトに遺跡や遺物に触れられ、直接解説してもらえる魅力は、風来坊では得られないもの。今回も 黒曜石の星糞峠では 現在再調査中の遺跡をオープンしてもらって、話が聞けました。

また、信州の縄文土器や土偶など直に手を触れることが出来ました。縄文人は素晴らしい景色が展開する場所に住んでいた。そんな縄文遺跡の現地を見るのも楽しみなのですが、残念ながら アルプスの遠望は出来ませんでしたが、やっぱり素晴らしい景色が展開するところでした。相変わらずですが、元気に過ごしています。

そんなWalkの記録を 10月のホームページに追加しましたので、暇な折にでもご覧ください。

また、いろんな情報・ご意見 お聞かせ下さい。

仲間の山の便りをもらうと うずうず。この夏 立山・黒部ルートへ行きたかったのですが、膝に不安もあってよう出かけませんでした。でも 負け惜しみでないですが、里山をゆっくり歩く楽しみもオモシロイ。思いもよらぬ地形や人に出会えたり、気楽に里山の温泉探すのもいいものです。

神戸にこられたら、是非 お立ち寄り下さい。

2007. 10. 1. Mutsu Nakanishi



美濃市を流れる長良川 讃岐石の原産地「金山」 葛城 金剛山東麓 風の森峠

2007. 9. 10.

2007. 8. 6.

2007. 7. 31.

黒曜石の原産地 星糞峠

2007. 9. 6

この9月 僕にとって この「和鉄の道」検討にとっては うれしいことがありました。

「鉄が日本にもたらされて自給できるまで 約1000年 なんで そんなにかかったのか???」

「初期大和王権を支えたのは 朝鮮半島の鉄の霸權と通商路の支配連合だったろう その痕跡は????」

この答に近づきたくて 今も 古代の鉄にこだわって 歩いています。

あっちへふらふら こっちへふらふらでしたが、つい最近 神戸の本屋でみつけた愛媛大学 村上恭通先生の著「古代国家成立過程と鉄器生産」に出会って、眼からうろこが落ちる感じでした。

僕が不勉強で知らなかっただけかもしれませんが……

村上先生の日本に古くからある「精練鍛治炉と沸かし付けの接合精練」が「たたら」製鉄・たたら炉の萌芽との説とその実証には納得。日本での たたら製鉄の開始の前夜 「精練鍛冶」の名で広くおこなわれるようになつた「鍛治炉での鉄素材への鉄器再生と鉄塊への沸かし付け接合精練」や、「不純物の多い小鉄塊の接合と鉄滓の搾り出し精練」などが日本の独自技術として発明されたとの論を実証展開されている。

5世紀 製鉄開始の前夜 大量の鉄滓を伴う精練鍛冶の日本各地での展開も古い時代からの各地に残る数多くの製鉄伝承と鍛冶と製鉄伝承の混用等々 不思議だった謎が同時に解けそうな気がしています。

これが 「物づくり」の技術伝統をつくりあげたのではないか・・・・と。

なんせ 1000年かかっているのですから…

やっと 自分でも 日本のたたら製鉄は 「日本固有の技術系」と思えるようになっています。

まだ きっちり 自分の頭の整理がついていませんが、なにか 吹っ切れた気持ちです。

頭の整理をしながら、一度まとめたいと思っています。

2007.10.1. Mutsu Nakanishi

ホームページ更新記事の概要

■ 和鉄の道 Iron Road たたら遺跡探訪

1. 古代 大和への道【4】 紀ノ川水系【2】

古代「紀路」紀ノ川の流れに沿って大和へ Country Walk 2007.7.31.

1. 初期大和王権の重要路 紀ノ川水系と其処を本拠とする紀氏・葛城氏

2. 紀ノ川の流れに沿って 大和へ Country Walk

2.1. 紀ノ川の入口を押さえ、大陸・朝鮮半島の窓口となつた紀氏

2.2. 紀ノ川の中流 古代大和の玄関口 五条

2.3. 五条から陸路 金剛山の東麓 風の森峠を越えて 大和・葛城へ

3.まとめ

日本で製鉄が始まる前 3世紀後半から6世紀にかけて、朝鮮半島の鉄素材の霸權を巡つて、日本各地の諸国が連合し、その確保に向かい、その辯の中から、邪馬台国・初期大和王権が生まれたといふ。

大和と西日本・朝鮮半島・大陸を結ぶ「鉄の道」。紀路はそんな古代大和の鉄の道の最重要路。

紀ノ川河口の和歌山から 中流の五條 そして 大和と紀ノ川流域の分水嶺 金剛東山麓の風の鈴峠と紀ノ川沿いを歩きました。鉄の道で活躍した紀氏や葛城氏そして鴨氏の足跡に触れられた一日でした。



紀ノ川の河口 和歌山市
紀伊風土記の丘より



吉野から流れ下る紀ノ川
粉河 龍門山より



五条市を流れる紀ノ川
榮山橋より



紀の川流域/葛城の分水嶺
風の森峠周辺

2. 縄文のサヌカイト原産地 四国 坂出「金山」に「サヌカイト・讃岐石」を訪ねる 2007.8.6.



1. 坂出「金山」周辺のサヌカイト・讃岐石と「金山」にまつわる民話

- 1.1. サヌカイトの生成とその特徴
- 1.2. 四国 坂出 「金山・城山」周辺に伝わる民話
2. 城山と金山の鞍部 「奥池」周辺で 「サヌカイト」に出会う
3. 城山と金山の間から サヌカイトを探して 「金山」を越える
4. サヌカイトの原産地 縄文のサヌカイト鉱山 坂出の「金山」を歩いて



四国坂出の街の背後北側にぽっかりある小山「金山」。 縄文人達が道具や武器制作の材料として採取した「サヌカイト」の原産地。緑の森に包まれたサヌカイトを探しながらの約2時間の里山歩き。

Walk のあちこちで こんなに 広くサヌカイトが縄文の昔だけでなく 今も使われているのか・・・とびっくり。自分の手にとって 「叩いて黒い破面を出してみたい」との願いがかなえられて 本当に満足。縄文時代には おそらくは 「金山・城山」や五色台のふもとまで海が迫り、この金山は海からの格好の目印 この金山を目指して多くの縄文人がやってきたろう。

金山の神 金山神社から琴平金比羅宮が分かれていったという伝承も本当なのだろう。

金山周辺の民話の世界にもまた、興味津々。金山長者と城山長者そして 城山長者の娘と結婚した「炭焼き友造」これが 鉄の痕跡ではないかと今も思っています。

3. 鉄のモニュメント 長良川にかかる現存最古の近代吊橋 「美濃橋」

(重要文化財) 岐阜県美濃市 2007.9.10.

長良川の中流 北陸と東海を結ぶ交通の要衝として江戸～明治時代に隆盛を極めた美濃市。市街地は「うだつ」のあがる美しい町並 国の重要伝統的建築物群保存地区。市街地の西側 長良川 河畔は今も古い灯台が残る美濃「上有知」の湊。その河畔に当時の技術の粋を集めた日本最古の鉄製近代つり橋「美濃橋」(1915年大正5年完工)がかかっている。また、美濃の一つ手前の街「関」刃物の街私の興味を引いた「フェザーカミソリのミュージアム」 「縄文人も カミソリをつかっていた????」



現存最古の近代吊橋「美濃橋」

(重要文化財)

うだつの上がる街 「美濃」

重要伝統建築物群保存地区

縄文人もカミソリをつかっていた???

フェザーミュージアム 関市

■ Country Walk 風来坊

1. 信州の縄文を訪ねる旅 2007. 9. 5. & 9. 6.

縄文人の故郷 信州。信州の縄文人は素晴らしい景観の山裾に自分たちの村をつくり、そこには 縄文の交易品 「信州・霧が峰の黒曜石」 そして 謎の「人体文・人面土器」がありました

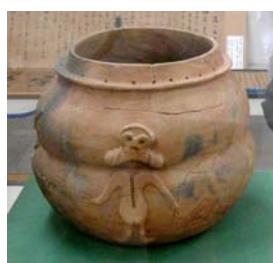
信州 伊那谷・塩尻に縄文の「人体文・人面縄文土器」を訪ねまた、星糞峠に黒曜石原産地遺跡を訪ねました

1. 南アルプスを遠望し、天竜川を見下ろす高台に不思議な人体文縄文土器が出土した

伊那谷の北部 南箕輪村 久保上ノ平遺跡

2. 縄文中期研究の先駆けとなった縄文集落 平出縄文集落遺跡

3. 信州 長和町 黒曜石原産地遺跡 縄文の黒曜石鉱山「星糞峠」



不思議な人体文付鍔付土器



比叡の山の麓から大古の泉が湧く平出縄文集落



星糞峠 黒曜石原産地遺跡

塩尻市 久保上ノ平遺跡

○ 天竜川を眼下に見下ろし、南アルプス千丈・北岳を遠望す縄文中期研究の先駆けとなった縄文集落

伊那谷の北部 南箕輪村 久保上ノ平遺跡

天竜川を眼下に見下ろす段丘の上の村で 不思議な人体文の装飾が施された縄文土器が出た



南アルプスを遠望し、天竜川を見下ろす高台に不思議な人体文縄文土器が出土

○ 伊那谷・木曾谷と松本平・諏訪の十字路 塩尻に 日本で初めて 縄文の村の姿を明らかにした縄集落がある

縄文中期研究の先駆けとなった縄文集落 平出縄文集落遺跡

そこは 北アルプスの連峰と美ヶ原の間に広がる広大な松本平を展望できる山裾で

大古の時代から こんこんと湧き出す清らかな泉と雀踊りを軒先にかけた信州独特の民家群が出迎えてくれる。



雀踊りを軒先にかけた信州独特の民家群とコンコンと湧く平出の泉が出迎えてくれる平出遺跡

○ 霧ヶ峰・和田峠の直ぐ隣の静かな山里 廬山の「星糞峠」

静かな山の斜面に広がる雑木林の落ち葉のなかに 今もキラキラと黒曜石が輝いています



信州 長和町 黒曜石原産地遺跡 縄文の黒曜石鉱山「星糞峠」

2. 縄文のサヌカイト原産地 四国 坂出「金山」に「サヌカイト・讃岐石」を訪ねる 2007.8.6.



1. 坂出「金山」周辺のサヌカイト・讃岐石と「金山」にまつわる民話
 - 1.1. サヌカイトの生成とその特徴
 - 1.2. 四国 坂出 「金山・城山」周辺に伝わる民話
2. 城山と金山の鞍部 「奥池」周辺で 「サヌカイト」に出会う
3. 城山と金山の間から サヌカイトを探して 「金山」を越える
4. サヌカイトの原産地 縄文のサヌカイト鉱山 坂出の「金山」を歩いて



四国坂出の街の背後北側にぽっかりある小山「金山」。

縄文人達が道具や武器制作の材料として採取した「サヌカイト」の原産地。緑の森に包まれたサヌカイトを探しながらの約2時間の里山歩き。

Walk のあちこちで こんなに 広くサヌカイトが縄文の昔だけでなく 今も使われているのか・・・とびっくり。

自分の手にとって 「叩いて黒い破面を出してみたい」との願いがかなえられて 本当に満足。

縄文時代には おそらくは 「金山・城山」や五色台のふもとまで海が迫り、この金山は海からの格好の目印 この金山を目指して多くの縄文人がやってきたろう。



11.

2007年 12月 「IRON ROAD 和鉄の道」

2007.12.1.



2007年 秋 神戸でも 今 山が色とりどり に色づいています 神戸 県庁前 相楽園で 2007.11.26.



奥出雲 雲南市 大志戸たたら遺跡現地説明会で 2007.10.13.

奥出雲 松江道の工事現場から たたら街道の名の通り 次々と製鉄遺跡が見つかっている



萩焼 陶芸家 田中講平さんの新作 作陶展が山口の陶房で開かれたのを機会に秋の山口・美祢を訪ねました 2007.11.8.

あっという間に12月になりました。

「師走」という感じはまだピンと来ませんが、神戸の街では真っ赤に色づいた紅葉が風にまつて素晴らしい晩秋の景色を呈しています。やっぱり、1ヶ月ぐらい季節感がずれているようです。いかがお過ごしでしょうか・・・

60を越えて 同窓会年齢というか・・・ 秋は同窓会シーズン。

こっちが まったく 忘れていることを思い起こしてくれたり、いつも 頭の片隅にあった友に思いがけなく出会えたり。友が語る自分の生きざまと自分の記憶との違いにビックリしたり。後戻りできない自分が 仲間の中にふつふつと浮かびあがって、舞い上がった時間をすごしました。家内ともども 久しぶりの仲間との再会に歓喜するこの秋でした。

また まだ、夏の Country walk の整理がつかないのに、「素晴らしい景色 Walk が出来る」「和鉄の道 たら」などと聞くと 勝手に「今やかないと・・・ もう 時間がなくなる」と

勝手な理屈を付けて この秋あちこちの Country Walk も楽しめました。

移り変わる秋 そして、色々な出会いを楽しんだ2ヶ月でした。

ホームページの更新をせねば・・・・と思いながら あっという間に時間がたって、季節の便りだけは更新作業を。

そんなんで、季節の便りとして この秋出かけた Country walk の写真を整理掲載ただけで、ほかの更新は出来ていませんが、季節の便りとして 受け取りください。

相変わらずのホームページ 更新ですが、また ご意見・情報などお聞かせ下さい

本年も あと1ヶ月

クリスマスカードなど掲載のページをもう1回更新しようとおもっていますが、どうなるか・・・

ことしも 1年間 勝手なホームページにお付き合いいただき 有難うございました。

神戸では 12月9日から「ルミナリエ」が始まりますが、これが終わると 一気に「クリスマス」「師走」

震災の翌年 真っ暗な夜空にパッと目の覚める輝きの灯が点いた時の感激は今も残っています。

そして 本当に 寒くて寒くて 物音もなく静まり返った街 1月の震災の記憶へとつながってゆきます。

一度 落ち着いて 「和鉄の道」も今までのものを整理し、今の視点で再構築しようとおもいながら なかなかできていません。

本年は やっと 鉄伝来から製造まで1000年近くかかった謎が自分なりに解けそうな糸口にたどりつけたこと また、「鉄」のすごさというか 鉄のパワーが戦にも平和・文化をももたらすこと いまだ変わらず。

今こそ 鉄の培ってきた技術の理念の奥深さが、軽薄短小の底の浅い時代をかえてくれるのでは・・・ と期待しています。

なにがあっても みな この 美しい地球に住む 地球人

暖冬とはいえ 風もはやりだしました 健康に御留意されますよう。

2007.12.1. 神戸にて Mutsu Nakanishi



ホームページ更新記事の概要

■ 和鉄の道 Iron Road たら製鉄遺跡探訪

1. 写真アルバム たら製鉄 砂鉄採取の地形が残る 西播磨 砥峰高原 2007. 10. 4.

初秋の西播磨の山郷 一面ススキが覆いつくす 砥峰高原

西播磨 砥峰高原に残るたら製鉄の痕跡。

低山の山中から カール状の地形が突然現れたのには本当にビックリ。人工のそれも 砂鉄の採取跡とは思えぬ自然に溶け込んだ景観のみごとさに見とれました。それも 周囲にまったく家がないままの状態で守られているのにも驚きました。



この山に入る谷は かつて高級水圧鉄管と溶接技術開発の仕事で名を知る関西電力の揚水発電所大河内ダム湖。下の谷間の集落の畔には真っ赤なマンジュシャゲが周囲の山々の緑とよくマッチして、秋を演出。登りきって目にした砥峰高原 これは信州アルプスで見た氷河が削り取ったカール地形そのもの そんななだらかなすり鉢状の草原に ちょっと早かったです、ススキが一面を覆っていました。



ススキの大草原 初秋の砥峰 2007. 10. 4.



ススキの大草原 初秋の砥峰高原 砥峰高原と波立 2007. 10. 4.

■ Country Walk 風来坊

1. 2007年 秋 点描 10月 11月

暑い暑いといながら 天候の安定した10月 11月 声をかけられると うずうずの風来坊 Country Walk を楽しみました。あまり良い出来ではありませんが、各地の秋の表情 季節の便りです

● 初秋の西播磨の山郷 一面ススキが覆いつくす 砥峰高原 2007. 10. 4.

● 奥出雲雲南市掛合町へ

たら街道の名の通り 松江道の工事現場から 次々と製鉄遺跡が出土 2007. 10. 13.

● 久しぶりに夜の船で四国 松山へ 2007. 10. 26.-28.

● 山口県美祢市の夜明けの朝霧 2007. 11. 9.

● 神戸でも 今 紅葉の真っ最中 2007. 11. 26.



美祢市の夜明けの朝霧



松江道の工事現場から 次々と製鉄遺跡が出土



瀬戸内海の夜明け



神戸の紅葉



西播磨大河内町の秋

■ 思いつくまま from Kobe 12月

この秋 感激したこと おもいつくまま

1. エジプト ツタンカーメンの鉄につながるかも??? たたらのルーツである塊鍊鉄
2. 月面探査衛星「かぐや」の撮影した「三日月の地球」に感激
3. 大阪の西の守り 四層の天守閣と3層櫓の素晴らしい尼崎城の姿(復元模型)

